

TIA News!

20周年記念特別号

2013.02.Vol.59



信頼の

高品質。

ダンロップ
テニスボール・アドバイザースタッフ
松岡修造

修造



信頼に応える高品質なロングセラーボール。

半世紀以上に渡り、数多くの国内主要大会で使用され、どのボールも同じ性能と感覚でプレーができる均一性を極めた試合球。絶えず進化し、変わり続けるテニスの大きな流れの中で、高品質なロングセラーボールとして、いつの時代も変わることのないマイルドな打球感と優れた耐久性で、プレーヤーの信頼に応え続けます。

プレッシャーライズド テニスボール
フォート



2ヶ入缶 / 1ケース (30缶) オープン価格
カラー: イエロー
国際テニス連盟公認球 / 日本テニス協会公認球
MADE IN THAILAND

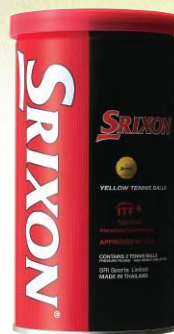


時代に応える軽快なスピードタイプボール。

国際大会を中心に使用されているスピード感を重視した試合球。エネルギーロスを低減したコア設計を採用し、コントロール性や打球感を犠牲にすることなく、スピード感と軽快な打球感を同時に実現。さらに耐摩耗性に優れた「フォート」と同素材のメルトンを使用し、高い耐久性を確保した軽快なスピードタイプボールです。

プレッシャーライズド テニスボール
スリクソン

2ヶ入缶 / 1ケース (30缶) オープン価格
カラー: イエロー
国際テニス連盟公認球 / 日本テニス協会公認球
MADE IN THAILAND



△切り口で指をケガする恐れがありますので開缶後は缶ブタ・缶の内側に直接手を触れないでください。

JTIA News! 20周年記念特別号

目次

■ご挨拶	
公益社団法人日本テニス事業協会 会長 雑賀 昇	2
■祝 辞	
公益社団法人日本テニス事業協会 顧問 環境大臣・原子力防災担当大臣 衆議院議員 石原 伸晃	3
公益社団法人日本テニス事業協会 顧問 公益財団法人笹川スポーツ財団 理事長 小野 清子	4
公益財団法人日本テニス協会 会長 畔柳 信雄	5
公益社団法人日本プロテニス協会 理事長 佐藤 直子	6
日本女子テニス連盟 会長 飯田 藍	7
アメリカテニス事業協会 代表理事 ジョリン・デボイヤー	8
■日本テニス事業協会 20年の歩み	10
■特別寄稿	
公益財団法人日本テニス協会 名誉会長 盛田 正明	20
公益財団法人日本テニス協会 副会長 渡邊 康二	22
テニス用品会会長 ヨネックス株式会社 代表取締役社長 米山 勉	23
テニス・フォトジャーナリスト 塚越 亘	24
■インタビュー	
「テニスの未来のために」 橋本総業株式会社 代表取締役社長 橋本 政昭	28
「神宮でテニスを楽しむ」 テニス愛好家 俳優 渡辺 篤史	32
■トピックス	
TIA (アメリカテニス事業協会)について 理事 飯田 浩一	33
■座談会	
「テニス事業の未来と事業協会の果たすべき役割」	36
■設立 20周年に寄せて	
「設立当初から今まで」 公益社団法人日本テニス事業協会 元副会長 内藤 昇	44
「『テニス業界の公益法人化』への歩み」 日本テニスクラブ連盟 元副会長 飯田 恭次	45
「公益社団法人日本テニス事業協会 20周年によせて」 公益財団法人吉田記念テニス研修センター 理事長 吉田 宗弘	46
■JTIAについて	51
■20周年記念 賛助会員表彰	58

おかげさまで20周年!



公益社団法人日本テニス事業協会
JAPAN TENNIS INDUSTRY ASSOCIATION



公益社団法人日本テニス事業協会
会長 雑賀 昇

日本テニス事業協会は、前身の日本テニスクラブ連盟にテニススクール事業者が加わり発展的に移行し、平成4年に通商産業省（現経済産業省）に認可され社団法人として発足いたしました。昨年4月より内閣府の認定を受け公益社団法人となり、協会設立20年を迎えることが出来ましたのは、会員の皆様、会員各社の従業員の皆様のご支援に加え、関係各位のご指導、ご鞭撻の賜と深く感謝し心より厚く御礼申し上げます。

この間の社会環境の変化は目まぐるしいもので、バブル崩壊後の不況から深刻なデフレ経済を生み出し、構造改革と規制緩和の推進は格差社会を生み、少子高齢化が更に進み、リーマンショックや東日本大震災など、ますます難しい時代となってきております。

しかしながら、この度の政権交代による安倍総理が提唱する経済政策「大胆な金融政策」「機動的な財政政策」「民間投資を喚起する成長戦略」という3点の基本方針を打ち出され、すでに円安、株高などの傾向がみられ幸先の良いスタートを切り、明るい日本が始まっているとの感があります。脱デフレ、3.11からの復興も含めて強い日本の再興など、これから大きく変貌していくような気がいたします。

そして、スポーツ界においては昨年のロンドンオリンピックで日本選手が活躍し、過去最多のメダル獲得をするなど、国民のスポーツに対する関心が近年にないほど高まり、スポーツの力を感じ取ると共に我々テニス界にとってはチャンスと言えるのではないのでしょうか。

しかし、多様化するスポーツ界、特にメダルを獲得した種目などは愛好者創出に向けての活動に対して積極的な声を聞く機会が増えてまいりました。そうした中、これからの少子化社会では各種目間での子どもの争奪戦が激化していくことが予想されます。

このような状況の中でテニス事業を振り返りますと、

いくつかの問題点や課題があるのではないかと考えます。

まずテニスを楽しんでいただく場所という観点から見ますと、昭和50年代後半から増え続けていた会員制テニスクラブはバブルの崩壊と共に減少し、特に都市部においては数多くのクラブが閉鎖に追い込まれており、一方では公営のテニスコートはバブル期以降も増加しております。これら公営コートを活用する手段としては指定管理者制度を活かす事が一つの方法でしょう、そのためには地方自治体と積極的に関係作りを進めて行く必要があるのではないのでしょうか。また同時に、学校や企業所有のテニスコートを含めこれらの施設を効率的に活用していくことも必要な時代と考えております。

さらに、ますます進む少子化社会においてテニス業界が他業界に打ち勝っていくためには、以下の2点が重要と思います。

1. 従前の「待ちの姿勢」でお客様が来るのを待っているのではなく、「攻めの姿勢」でこちら側から街、学校、幼稚園、団体などへ出向いて行き、新しい顧客作りを展開すること。
2. 従来とは違う手法として、PLAY+STAY方式を取り入れるなど楽しいテニスを提供し、よりサービスの強化を図ること。

一方、これからも増加傾向にあるシニア層に対しては、PLAY+STAYの考え方を導入し特にグリーンボールなどの用具を活用していくことが新たな顧客創造に繋がるのではないのでしょうか。

そして、テニス事業が成長していくためにはそこで働く人の更なる努力と力量によるところが大きいとの考えから、テニス事業に関わる我々が今以上に施設の効率的な運営能力向上を図ることを目的とする、本協会が制定したテニスプロデューサー資格制度を通じて優秀な人材育成に努めて参ります。ただ単にテニスを楽しんでいたというコーチ業だけではこれからの時代は務まらなくなっており、テニス以外も含めた施設をより有効活用できる運営力・経営力が求められる時代に入ったと痛感しております。

また、我々テニス事業者がおかれている環境は決して楽観視できる状態では無く、今一度謙虚な気持ちで「現場第一主義」、お客様との接点を大切にするという経営の原点に立ち、テニス事業の経営・運営に取り組むことが肝要ではないのでしょうか。

これからのテニス事業の伸展、そしてテニス界の更なる発展に寄与する団体としてさらに研鑽を重ねる事業協会を目指したいと存じます。

数多くの課題を抱えながらも、私どもは「物から心に」豊かさの追求が変化するこの時代にあって、スポーツの持つ特性である「健康の維持増進」「青少年の健全育成」「人と人、地域と地域との交流促進」「公正さや規律を尊ぶ態度や克己心を培う」など、“明るく豊かな国民生活の形成”に貢献する仕事に携わっているということに誇りと自信を持ち、テニス事業を伸展させ、関係者ならびに関係諸団体の皆様と力をあわせてテニス界の発展に寄与したいと念じ、ご挨拶といたします。



公益社団法人日本テニス事業協会 顧問
環境大臣・原子力防災担当大臣
衆議院議員 石原 伸晃

この度は、公益社団法人日本テニス事業協会が、協会設立 20 周年を迎えられましたこと心よりお慶び申し上げます。

併せて、貴協会の活動にご尽力されている関係各位の方々に、心より敬意を表させていただきます。

さて、貴協会が歩んでこられたこの 20 年は少子高齢化が一段と進み、又、テニスコートに掛かる固定資産税や相続税は、税制の特例措置を要望する皆様の懸命な署名運動のご努力にもかかわらず厳しい制度のままであり、テニス事業を営む貴協会の会員様にとりまして大変厳しい 20 年であったと推察致します。この厳しい環境の中を乗り越えて来られましたのは、偏に会員の皆様が終始一貫、団結して「テニス事業の健全な発展を図り、もって国民生活の向上に寄与すること」という高い理念と志を持ち続け、テニスの普及やテニスに関わる人材の育成、地域社会への密着・サービスの提供等、地道に努力された賜であり頭の下がる想いです。

また貴協会におかれましては、協会の大命題であります「テニスの普及」に関しましても、毎年開催運営されております「テニスの日」「有

明の森スポーツフェスタ」「キッズ&ジュニアテニスカーニバル」「東京都知事杯有明チームテニスコンペティション」等々、その実績において、年々着実に普及成果を上げられ、皆様の努力が実りつつあるとお聞きしております。加えて更なる普及徹底のために、現在、キッズやシニアの初心者の方でも簡単にテニスを楽しめる、「PLAY+STAY」と言われる新プログラムの導入拡大に、協会挙げて取り組んでおられるとお聞きしております。今まさに、日本のテニス界も錦織選手を筆頭に有望選手が出て来て世界の舞台で活躍しており、テニス界にとっては又とないチャンス到来だと思います。同時に東京オリンピック・パラリンピックの招致気運も高まり、スポーツ界全体にとりましても追い風の年として大きな期待が持てる状況にあります。

私も、又とないこのチャンスを掴み、日本全体を元気にするため、皆様と共に精一杯頑張る所存でございます。

最後になりましたが、雑賀会長を始めとする会員の皆様のご健勝と、貴協会の益々のご発展をご祈念申し上げ、私のご挨拶とさせていただきます。



公益社団法人日本テニス事業協会 顧問

公益財団法人笹川スポーツ財団 理事長 小野 清子

公益社団法人日本テニス事業協会が、設立 20 周年を迎えられましたことに衷心よりお祝い申し上げます。

また、20 年の長きに亘り、日本テニス事業協会のご発展にご尽力されました歴代の役員の皆様はじめ、現、雑賀会長及び役員、関係各位の皆様様に改めて敬意を表する次第でございます。

さて、日本テニス事業協会は「テニスの普及」、「テニス事業に携わる人々の人材育成」、「会員の皆様へのご支援」等を運営の柱として日々努力を重ねられ、今日に至っていると伺っております。

具体的には、テニススポーツの普及の大きな推進力となっております「テニスの日」の運営やテニス人口裾野拡大にご貢献されている「有明の森スポーツフェスタ」や「キッズ&ジュニアテニスカーニバル」等の開催、運営等、また現在では東京都の主管行事となっております「東京都知事杯有明チームテニスコンペティション」の開催運営、更には人材育成面で画期的な「テ

ニスプロデューサー制度」の設立と運営等々、日本テニス事業協会が日本のテニス業界に果たしてこられました 20 年間の功績は誠に甚大でございます。

また、貴協会設立 20 周年の節目の今、日本テニス界では錦織圭選手をはじめスター選手が出現してきており、明るく力強い光が見えている中、2020 年のオリンピック・パラリンピック招致運動にも貴協会は大変なご尽力をされていると伺っております。東京オリンピック・パラリンピック開催は国民の願いであり、何としても実現したい大きな夢であります。

私もスポーツの世界を歩んできた一人として日本テニス事業協会様と共に招致運動に日々努力する所存でございます。

おわりに、貴協会の益々のご発展並びに会員の皆様のご健勝をお祈り申し上げ、これからも業界のオピニオンリーダーとしての一層のご活躍を期待し祝辞とさせていただきます。



公益財団法人日本テニス協会
会長 畔柳 信雄

公益社団法人日本テニス事業協会が設立 20 周年を迎えられましたことに、心よりお祝いを申し上げます。

貴協会は 1992 年に経済産業省の認可のもと発足されて以来、「テニス事業の健全な発展を通じて国民の健康維持増進に寄与する」ことを主たる目的として、力強い活動を続けてこられました。

テニスを取り巻く厳しい環境下で重要度を増す「人財育成」「事業者サポート」には、特に注力され、セミナー開催を積極的に行われるなど、テニス事業界の活性化に多大な貢献をなさっております。

テニスの普及活動におきましても、講習会から競技会まで多くの事業を手掛けられ、「テニスコートという場」を有する事業者の方々が、直接、愛好者の声を取り入れて、工夫、改善を続ける地道な活動を展開しております。

特に、昨年 15 年目を迎えた「テニスの日」の活動については、発足当初の幹事協会に立候補して、基本的方向性を定めて頂いたと伺っておりますが、現在も、引き続き貴協会における普及活動の中で最優先させるべきものと位置付けておられ、その一貫したご努力に深く敬意を表すものでございます。

私共日本テニス協会も、様々な事業活動を行っ

ておりますが、テニスの普及及び選手強化は、私共にとり基本的な命題であります。

貴協会は指定管理者として「有明コロシアムを含む有明テニスの森公園」の管理運営に当たっておりますが、グローバルスタンダードに合致したコートサーフェスを維持して世界のトップ選手にも評価の高いコロシアムと、様々なレベルのテニス大会が開催されるテニスの森と、日本のテニス界に無くてはならない大切な施設を立派に運営され、テニスの普及及び選手強化にも大変な貢献を頂いております。

私共と致しまして深甚なる感謝を申し上げる次第です。

今後とも、テニス 4 団体（貴協会、日本プロテニス協会、日本女子テニス連盟、及び弊協会）のテニス連合を通じ、またテニスに関わる全ての事業者の方々との協力関係構築を通じ、日本テニスの繁栄を貴協会と共に現実のものとしていきたいと考えております。

終わりにになりましたが、貴協会歴代幹部の方々に対し改めて御礼を申し上げ、雑賀会長を始めとする現幹部の皆様のみますますのご活躍とご健勝をお祈り申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。



公益社団法人日本プロテニス協会
理事長 佐藤 直子

公益社団法人日本テニス事業協会が設立 20 周年を迎えられましたこと、心からお喜び申し上げます。

貴協会は、「For the Next Round …」のスローガンを掲げながら、常に将来を見据えて積極的にテニス界の人材育成事業、普及事業等を行ってこられました。そして依然として厳しい経済環境下でありながら、確固たる基盤を築かれたのも皆様のご努力と熱意の賜と敬意を表します。

また、貴協会と共に参加させていただいておりますテニス 4 団体による「日本テニス連合会議」においても、多くの研修事業や啓発活動、その他イベント等の企画・運営のご経験から存在感を示し、日本のテニス界の発展に大きく寄与されておりますことに賞賛の辞を送るとともに、非常に心強く感じております。

昨年は、貴協会が人材育成事業の一環として取り組んでおられます日本テニス産業セミナー

と、私ども日本プロテニス協会のコンベンションを合同で開催いたしました。会員同士の交流や合同懇親パーティーを通じて、両協会の親睦を深める、また知識や情報の交換を行う貴重な場を提供いただきましたこと、感謝申し上げます。

テニス界を盛り上げるためには「テニスの日」をはじめとするテニス 4 団体が力を合わせて運営するイベントを成功させ、それぞれの団体がベクトルを同じ方向に向ける必要があると考えます。

20 年という長い歳月の節目を越えて、これからの日本テニス事業協会のご活躍、ご発展を祈念するとともに、楽しいイベント等を通してお互いに力を合わせ、多くの方々に愛されるテニス界を創造していかれることを心よりご期待申し上げます。



日本女子テニス連盟
会長 飯田 藍

公益社団法人日本テニス事業協会が設立 20 周年を迎えられましたこと、心からお喜び申し上げます。

公益社団法人日本テニス事業協会の道程

設立後の 20 年、テニス界は様々な変革を経験する時代でもありました。

大きな流れとして、日本テニス事業協会結成の時期は、民間テニスクラブが全国的に増設され、盛んなクラブライフの広がりを見ました。

女子連の会員数も平成 10 年（30 周年）には全国に 4 万人と増え、首都 4 県では 2 万人を記録。

しかし現在は、首都圏会員が 1 万 1 千人と減少しています。これは首都圏テニスクラブが減少するに伴い、自由にテニスができる場所の確保が、難しくなったことにも一因が有ります。

ここに日本テニス事業協会が、地域社会に提供してきた「地域コミュニケーション」、「教育」、「健康」の意義が見事に顕在化した催しが、盛会を呼んでいます。

有明の森のテニスイベントは、あらゆる年齢

層のテニスファンの増加で沸き立ちました。

東京都のスポーツ振興に大きく貢献されているとの実感です。

この混沌とした世の中で、テニスというスポーツが元気を与え、人の輪をつなげていくことが出来ると有明からの試みが、日本国中に広まって行くよう深く願います。

女子連も現在、テニス普及の地域活動を全国的に展開。3 万 5 千人に減少した会員を、もう一度 4 万人にと復活目標を掲げています。

日本テニス連合で語られる課題は、全国のテニス愛好者の声を反映しています。

テニスで生活している人々がより豊かになるために、お互いに協力し、テニスが国民スポーツとして評価されるような事業を成功させましょう。

今後オリンピックが東京にくる事を願い、努力が成果をもたらすことに期待し、一丸となって進めていくことに力を結集していきましょう。

日本女子テニス連盟も頑張っています。



Tennis Industry Association (U.S.)
Executive Director Jolyn de Boer

アメリカテニス事業協会
代表理事 ジョリン・デボイヤー

On behalf of the Tennis Industry Association in the U.S. and all of our industry partners and members, I'd like to congratulate the Japan Tennis Industry Association on this important 20th anniversary milestone.

We share your commitment to growing this sport and to enhancing the position of every segment of the tennis industry, and we applaud your efforts to increase tennis participation and play opportunities in Japan.

It's gratifying to see that our goals and vision to grow tennis and the tennis industry here in the United States are very much aligned with those in Japan. Your focus on training and education for tennis providers, for instance, is such a key ingredient to the success we all strive for in this sport. And your grassroots initiatives continue to spread the word about tennis and all the great benefits that people can realize from playing the sport.

As the trade association for the sport of tennis in Japan, it's wonderful to see how active you are in helping to grow the economic vitality of the tennis industry while uniting this industry under one worldwide brand—TENNIS.

Best of luck for continued success and we are grateful for the friendship and cooperative spirit that has developed within our two organizations.

日本テニス事業協会が、記念すべき設立 20 周年を迎えられるにあたり、アメリカテニス事業協会及び全てのアメリカテニス事業者、関係者を代表し、心よりお祝い申し上げます。

貴協会が、日本においてテニスというスポーツを普及拡大し、またテニス事業に関わる全ての方々を支援するために設立されたという趣意に、心から共感いたしますとともに、これまでに貴協会が果たされた、日本でのテニス普及のための様々な活動に対し、深い敬意を表します。

私どもアメリカテニス事業協会の目的も、テニスの普及とテニス事業の発展を目指すというものであり、同じゴールを貴協会と共有していることに大いに喜びを感じます。テニス事業に携わる人材の教育、訓練に力点を置くことは、テニス事業の成功の最大の鍵でありますし、テニスという言葉とそのプレーの楽しさを広く人々に知ってもらうためには、草の根普及活動こそが絶好の機会であることは間違いありません。

日本におけるテニス事業者の協会として、さまざまな活動を通じてテニス市場の活性化を図り、また「TENNIS」という世界共通のブランドの下、業界の一致団結を導かれていることは、本当に素晴らしいことと存じます。

貴協会の引き続きの成功を祈念いたしますとともに、日米の両協会が緊密な協力関係と深い友情で結ばれていることを心からお慶び申し上げ、ご挨拶いたします。
(訳：理事 飯田浩一)



VCOREの 勢いが、 止まらない。

A.ケルバー：32位 ↑6位^{*1} J.モナコ：26位 ↑10位^{*1} B.トミック：42位 ↑27位^{*1} 添田 豪：120位 ↑47位^{*1}

2012全日本ジュニア使用率 37.5% 男女各4部門、決勝進出者16名中、6名が使用^{*2}

2012インターハイ3冠 男女単複4種目中、「VCORE」使用選手が3種目を制覇！女子団体優勝校は、メンバー全員が「VCORE98ドライブ」を使用^{*2}

※1 ATP & WTA シングルスランキング 2011年末→2012年最高順位(10月15日現在) ※2 当社調べ

次は、あなたへ。新生Xiで、さらなる加速を。

フレームトップの左右角に搭載した超高密度コア材「MICRO CORE (特許出願中)」が、フレームの剛性、面の安定性を向上。しっかりとボールを潰して叩ける。だから、スピンの威力もアップ。つねに相手を圧倒できる、この攻撃力をいま、あなたのものに。

<左から、C.ウエズニアツキ/A.ケルバー/J.モナコ/B.トミック/添田 豪>

VCORE Xi 誕生

VCORE Xi 100 100inch²/価格:31,500円(本枠価格30,000円) 重量:G1・2・3(平均300g)/日本製
VCORE Xi 98 98inch²/価格:31,500円(本枠価格30,000円) 重量:G2・3(平均305g)/日本製

facebook.com/YONEXTennisJapan
www.yonex.co.jp



日本テニス事業協会 20年の歩み

1992

12月25日社団法人日本テニス事業協会誕生
(日本テニスクラブ連盟を発展させ、テニス事業者のさらなる
繁栄を期して船出をしました)



【日本テニス界】

- ・松岡修造が韓国オープンで日本男子初のツアー優勝
- ・秋篠宮殿下、日本テニス協会名誉総裁に就任

【社会ニュース】

- 7月 バルセロナ五輪で日本は金3、銀8、銅11のメダルを
獲得、岩崎恭子が14歳で金
- 9月 毛利衛さん、日本人初のスペースシャトル搭乗

1994

平成6年度調査事業「消費者ニーズに
対応した機会提供、
質の高いサービス
提供の在り方」につ
いての調査を実施



「テニスフェスティバル」開催



【日本テニス界】

- ・伊達公子がジャパンオープン3連覇
- ・フェド杯で日本女子初のベスト8進出
95年世界グループ入り決定

【社会ニュース】

- 7月 向井千秋さん「コロンビア」で日本人女性初の宇宙飛行

1993

広報紙「TENNIS LIFE NOW」創刊号を3月に発行(~1995年)
情報紙「JTIA News!」創刊号を5月に発行

「第1回通常総会」開催



「日本テニス産業セミナー」開催

日本テニスクラブ連盟時より現在
に至るまで、テニス事業・産業とし
てのテニスの発展・協会の活性化
の推進を目的に毎年開催



「日本テニスチーム大会」を開催
協会の会員クラブメンバーやス
クール生の技量の向上と親睦を図
るための大会として日本テニス連
盟時より毎年開催

【社会ニュース】

- 5月 日本で初めてのプロサッカーリーグ「Jリーグ」が開幕
- 6月 皇太子徳仁親王殿下と雅子さまの「結婚の儀」パ
レードに19万人の出入

1995

平成7年度調査事業の実現化として「顧客の創出・育成と、よ
り良い環境提供のための「テニスフェスティバル」事業」を実施

国際車いすテニス大会「仙台オープン」開催



【日本テニス界】

- ・伊達公子が全仏で4大会日本女子史上初のベスト4進出
- ・伊達公子が最終世界4位、ツアー制度では日本選手最高位
- ・松岡修造がウィンブルドンで日本男子62年ぶりのベスト8進出
- ・沢松奈生子が全豪ベスト8に進出
- ・中牟田喜一郎氏が第10代日本テニス協会会長に就任

【社会ニュース】

- 1月 「阪神淡路大震災」が発生
- 3月 「地下鉄サリン事件」発生
- 11月 東京臨海副都心に「ゆりかもめ」が開業
- 米・メジャーリーグでドジャースの野茂英雄投手が新人王獲得



1996

平成8年度調査事業「テニス産業に関わる高度情報化に関する調査研究」を実施

＜表1＞テニスに対する活動継続・活動状況

活動継続1年以上でテニスをプレーしたことがある

性別	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
総数	割合	総数	割合	総数	割合	総数	割合	
487	42.6	402	42.5	44.7	35.1	33.8	27.6	

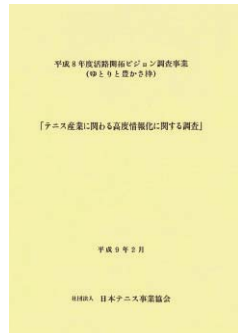
活動継続2以上の10年間でテニスをプレーしたことがある

性別	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
総数	割合	総数	割合	総数	割合	総数	割合	
177	20.4	209	21.9	11.8	10.3	22.7	18.2	

活動継続：テニスを今後も続けたい、絶対に続けたい、絶対に辞めたい

性別	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
総数	割合	総数	割合	総数	割合	総数	割合	
229	20.4	227	23.9	17.1	14.9	24.3	27.1	

出典：（株）ビザビサーチ 調査ID Free Index 1096.11



【日本テニス界】

- ・フェド杯世界グループ初戦でドイツを破る大金星、伊達が日本女子で初めて世界1位のグラフを破る
- ・伊達公子が日本女子初のウィンブルドンベスト4進出、グラフとの激戦は日没再試合となり、歴史的惜敗
- ・伊達公子が引退

【社会ニュース】

- 4月 三菱銀行と東京銀行が合併し、世界一となる資金量53兆円の「東京三菱銀行」誕生
- 7月 アトランタ五輪で日本は金3、銀6、銅5のメダルを獲得

1997

平成8年度調査事業の実現化として「テニス産業における高度情報化に対応する能力開発・人材育成事業」を実施



JTIA のホームページが誕生



【日本テニス界】

- ・平木理化が全仏混合でマヘシュ・ブパシ(インド)と組んで優勝
- ・松岡修造が引退(98年ジャパンオープンが最終試合)

【社会ニュース】

- 4月 消費税が3%から5%に引き上げ
- 12月 東京湾アクアラインが開通

1998

「テニスの日」スタート。有明メインイベント、共同イベント、個別イベントを各所で開催



民間テニス事業者の存続を脅かす「公営コート問題」について真剣な取り組みを継続実施



社団法人日本テニス事業協会のロゴマークを制定



最新の知識や情報の把握、指導育成システムの研究と実践を目的とした「ジュニア育成指導者研修会」をヤマハリゾート「つま恋」にて1泊2日で開催

【日本テニス界】

- ・沢松奈生子が引退
- ・国内テニス関係12団体と選手代表で「日本テニス振興協議会」結成、秋分の日を「テニスの日」と定める

【社会ニュース】

- 2月 長野冬季五輪で日本は金5、銀1、銅4のメダル獲得
- 5月 貴乃花と若乃花、史上初の兄弟横綱誕生
- 6月 日本、サッカーフランスW杯に初出場

1999

特別企画として「会員制テニスクラブの黎明期から今日まで」のテーマで協会の先達による貴重なお話をお聞きし「JTIA News! '99 Special」に掲載



特別企画第2弾「テニスクラブの歴史と今日」についてお話しいただき「JTIA News!」に掲載

平成11年度調査事業「新たなテニス愛好家創出を目的とした革新的会員制度ならびに利用システム及び料金体系策定のための調査研究」を実施

【日本テニス界】

- ・杉山愛が全米混合でブパシと組んで優勝

日本テニス事業協会 20年の歩み

2000

平成12年度調査事業「テニス事業者による地域青少年育成支援への取り組みに関する調査研究事業」の実施

テニス人口裾野拡大のためにテニスをしたことがない、または経験の少ない子供とその親を対象にショートテニスによる「キッズ&ジュニアテニスカーニバル」がスタート



情報化時代に対応して会員の事業者の皆様、テニス愛好家の方々に利用いただけるようホームページを一新

【日本テニス界】

- ・杉山愛が全米オープンでジュリー・アラール・デキュジス(フランス)と組んで優勝、同ペアでウィンブルドンも準優勝
- ・盛田正明氏が第11代日本テニス協会会長に就任

【社会ニュース】

- 9月 シドニー五輪で日本は金5、銀8、銅5のメダル獲得
- 10月 マラソンの高橋尚子が国民栄誉賞受賞

2001

「21世紀の経営戦略策定」をテーマとして会員制クラブ、スクールのそれぞれの成功者の事例紹介等、分科会方式を取り入れて「TOPGUN PROJECT」がスタート



(株)船井財産コンサルタンツの協力により「これからのテニスクラブ経営」：副題(事業活性化から継承まで)の小冊子を発行



【日本テニス界】

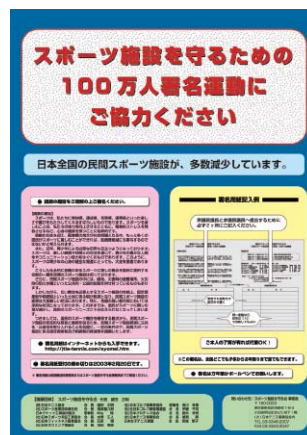
- ・杉山愛がウィンブルドンでキム・クライシュテルス(ベルギー)と組んで準優勝

【社会ニュース】

- 3月 サッカーくじ「toto」の受付開始
- 9月 東京ディズニー・シーがオープン
- 9月 アメリカ9.11テロ事件発生
- 10月 「テニスの王子様」TV 放映開始、テニスが大ブームとなる
- 12月 皇太子妃・雅子さまが愛子さまをご出産

2002

「民間スポーツ施設税制についての取組」・税制問題に端を発して民間スポーツ施設の閉鎖や縮小が取り沙汰される中、スポーツ関係団体が結束して「スポーツ施設を守る会」発足と「100万人署名運動」を実施



【日本テニス界】

- ・アジア競技大会釜山で男子団体が28年ぶりの金メダル

【社会ニュース】

- 5月 日本・韓国共同開催のサッカーW杯で日本はベスト16優勝はブラジル
- 9月 北朝鮮の金正日総書記が小泉首相との会談で日本人拉致事件を認め謝罪
- 10月 日本人拉致被害者5人が北朝鮮から24年ぶりに帰国

2003

「設立10周年記念テニス産業セミナー」では今までお世話になった賛助会員や10年継続会員等の表彰を実施



公営施設活性化モデル事業として東京都立有明テニスの森公園においてスペイン式指導法を取り入れた「ポール・セダノ テニスアカデミア」を開催

【日本テニス界】

- ・杉山愛が全仏とウィンブルドンでクライシュテルス(ベルギー)と組んで優勝
- ・日本テニス協会設立80周年

【社会ニュース】

- 3月 イラク戦争、アメリカ軍がイラクへの攻撃を開始
- 12月 地上デジタル放送開始
アメリカ軍がイラクのフセイン元大統領を拘束



2004

団塊の世代が退職を迎える2007問題に対して、業界からブームを興すべく「シニアブームを本気で興す!プロジェクト」を立ち上げた



公営施設活性化モデル事業として東京都立有明テニスの森公園においてジュニア育成強化を行う「有明ジュニアテニスアカデミー」を開校

NHK「趣味悠々」テキストの作成と番組撮影に協力した好評のため翌年も再放送で放映



テニス事業に関わるオリジナル「のぼり」の製作販売を開始



一般公募により「テニスの日」のロゴマークと愛称名「テニー」が決定



広く一般テニス愛好者を対象とする団体戦「有明チームテニスコンペティション」が有明テニスの森公園を会場にスタート



【日本テニス界】

- ・アテネ五輪女子ダブルスで杉山愛・浅越しのぶ組が4位に入賞
- ・デ杯で74年ぶりにインドを破る

【社会ニュース】

- 8月 アテネ五輪で日本は金16、銀9、銅12のメダル獲得
- 10月 柔道の野村忠宏が五輪3大会連続で金メダル獲得
- 新潟県中越地震発生

2005

平成15年に施行された「指定管理者制度」への調査・研究をスタートさせ、豊島区立三芳グラウンドの指定管理を受託



「賛助会員意見交換会兼懇親会」を開催



元テニスプレーヤー沢松奈生子氏とタレントのヨネスケ氏の両名を「ゆうゆうテニス大使」に任命

「シニアブームを本気で興す!プロジェクト」活動の一環として軽井沢で1泊2日のキャンプを開催、又シニア対象のテニスを「ゆうゆうテニス」と命名し商標登録



「テニスの日」の全国統一企画として「全国一斉ボレーボレー大会」を実施、15分間続いたペアには協議会より認定証を贈呈



【日本テニス界】

- ・鈴木貴男・岩淵聡組がAIG ジャパンオープンの男子ダブルスで優勝、日本男子ペアとしてツアー初優勝の快挙

【社会ニュース】

- 11月 紀宮清子内親王殿下と黒田慶樹さんがご結婚

日本テニス事業協会 20年の歩み

2006

「豊島区立総合体育場」「豊島区立西巣鴨体育場」「豊島区立荒川野球場」「有明テニスの森公園」を指定管理者として受託



コーチの資質向上を目指し2ヶ月に1回のペースで「コーチ部会」を開催することとしスタート



「テニスプロデューサー制度」がスタートし、第1回テニスプロデューサー資格認定講習会&試験を実施



これからのテニスクラブ事業について、後継者が集まりお互い情報交換して今後の在り方を検討する「クラブ部会・後継者の会」がスタート

有明テニスマネジメントチームが主催する第1回「東京有明国際女子オープンI & II」を開催

各事業所の安全管理強化のため「AED（自動体外式除細動器）」の共同購入の斡旋を実施



「テニスプロデューサー制度」ロゴマークを制定



TENNIS PRODUCER

【日本テニス界】

- ・車いすテニスで日本人史上初めて国枝慎吾がシングルス世界1位の快挙を達成

【社会ニュース】

- 2月 冬期トリノオリンピックで日本は金1、銀0、銅0のメダル獲得
女子フィギュアスケートの荒川静香がアジア勢初金のメダル
- 3月 第1回 WBC（ワールド・ベースボール・クラシック）で王貞治監督率いる日本が優勝
- 6月 日本、サッカーW杯ドイツ大会に出場
- 9月 秋篠宮紀子さまが男子をご出産、お名前は「悠仁（ひさひと）」さま

2007

テニスプロデューサー有資格者を対象とした実践向け研修会「テニスプロデューサー資格者限定研修会」を開催



フロント部会の活動としてフロントスタッフの資質向上を目指す「フロント・ステップアップ・アカデミー」がスタート

有明テニスの森公園・48面のコートを使い日本最大規模のチーム戦「東京都知事杯 有明チームテニスコンペティション」を開催



【日本テニス界】

- ・車いすテニスで史上初めて国枝慎吾が年間グランドスラム達成の快挙
- ・錦織圭が2月のデルレービーチ国際で、92年松岡修造以来、日本男子史上2人目のツアー優勝

【社会ニュース】

- 2月 第1回「東京マラソン」開催
- 10月 郵政民営化がスタート



2008

テニスの普及を目的として当協会とテニス用品メーカー6社で「テニス活性化委員会」を設置しスタート

「15周年記念日本テニス産業セミナー」を開催



「東京有明国際女子オープンⅠ 2008」で11年半ぶりに現役復帰したクルム伊達公子が見事優勝



「目黒区立八雲体育館」「宮前公園庭球場」を指定管理者として受託



アメリカテニス事業協会との情報交換を兼ねた US オープン観戦ツアーを実施



【日本テニス界】

- ・ 錦織圭が全米で日本男子71年ぶりの4回戦進出
- ・ クルム伊達公子が5月に12年ぶりの現役復帰、11月の全日本選手権では16年ぶりに優勝

【社会ニュース】

- 1月 大阪府知事に橋下徹氏が就任
- 8月 北京オリンピック日本は金9、銀6、銅10のメダルを獲得
- 9月 リーマン・ブラザーズ経営破綻

2009

「テニス活性化委員会」の中に「始めよう部会」と「もっと続けよう部会」が誕生



「町田市立総合体育館」「成瀬クリーンセンターテニスコート」「三輪みどり山球場」を指定管理者として受託



【日本テニス界】

- ・ (公財) 日本テニス協会、(公社) 日本プロテニス協会、(公社) 日本テニス事業協会、日本女子テニス連盟の4団体で「日本テニス連合」を結成

【社会ニュース】

- 1月 バラク・オバマ氏が第44代アメリカ合衆国大統領に就任
- 3月 WBC (ワールド・ベースボール・クラシック) で原辰徳監督率いる日本が2大会連続優勝
- 8月 衆議院総選挙で民主党が歴史的勝利

日本テニス事業協会 20年の歩み

2010

「安全管理セミナー」がスタート



クラブ部会主催による「テニスクラブ創業者懇談会」を京王プラザホテルにて開催



【日本テニス界】

・クルム伊達公子が復帰後全仏で勝利

【社会ニュース】

- 1月 日本航空、会社更生法の適用を申請
- 2月 カナダ・バンクーバー冬季オリンピックで日本は銀3、銅2獲得
- 6月 南アフリカでサッカーW杯開催、日本、決勝トーナメントへ進出
- 9月 尖閣諸島沖で中国漁船と海上保安庁の巡視船が衝突

2011

「有明の森スポーツフェスタ」が有明テニスの森公園 & 有明コロシアムにてスタート



コーチ部会の活動として、コーチの資質向上を目指す「コーチステップアップアカデミー」がスタート



【日本テニス界】

・錦織圭が世界ランキング1位のジョコビッチを破る大金星

【社会ニュース】

- 3月 3.11東日本大震災発生
福島第一原発事故で深刻な被害
- 7月 サッカー女子W杯「なでしこジャパン」世界一



2012

社団法人日本テニス事業協会から内閣府認定の公益社団法人日本テニス事業協会へ名称変更



公益社団法人日本テニス事業協会
JAPAN TENNIS INDUSTRY ASSOCIATION

指定管理施設町田市立総合体育館において、オリンピック招致気運を盛り上げるためのイベント「町田スポーツフェスティバル」を開催



国枝慎吾・齋田悟司・添田豪・伊藤竜馬をゲストに迎え、東京都目黒区主催の2020年オリンピック・パラリンピック東京招致気運醸成事業「オリンピック・パラリンピアンが来る!目黒スポーツフェスタ」を指定管理者として運営

マネージャー部会では、リーダーであるマネージャーが“人として成長し統率力を身につける”ことを学ぶ場とする「実践!“支配人養成塾”」がスタート



日本テニス事業協会とテニスを愛好する経営者が集うテニス交流会「Ex-Tennis」による協働事業として、テニスの普及とビジネスの発展を目的とした経営研究会がスタート



コーチ部会を中心に「PLAY+STAY」講習会を複数開催するなど、全国的に「PLAY+STAY」を広める活動を本格的に開始



【日本テニス界】

- ・ ロンドンオリンピックへ錦織圭、添田豪、伊藤竜馬の3選出が会場、錦織圭ベスト8
- ・ ロンドンパラリンピック車いすテニスで国枝慎吾が2大会連続金メダル
- ・ デ杯で日本、ワールドグループ1回戦でクロアチアに惜敗
- ・ フェド杯、対ベルギーに勝利、ワールドグループ1部へ昇格
- ・ 錦織圭が楽天ジャパンオープンで日本人として男子シングルス初優勝し、直後の世界ランクで自己最高の15位を記録



【社会ニュース】

- 5月 「世界一の電波塔」高さ634メートルの東京スカイツリーが営業開始
- 7月 ロンドン五輪で日本は金7、銀14、銅17の計38個のメダル獲得で史上最多
- 10月 IPS 細胞研究で山中伸弥教授がノーベル賞受賞

会員管理システム

ServiceAce®

ASPサービス型

<http://www.bccenter.co.jp/school>



会員システムは 集客ツールへ!



集客 ツール

新しいお客様・リピートのお客様を
確実に増やします

- イベント機能で会員様がもっと会場に
- ターゲット限定機能付きメール機能で
エントリー増加
- IT パワーで気軽に楽しめるスクールに

サービス 向上

親切丁寧・より充実した
接客サービスに時間を使う

- いつでも簡単・気軽な予約振替
- フェリカで簡単チェックイン

複雑な料金体系や
振替制度にも対応!

社員が 喜ぶ

イベントの企画～運営までが簡単に

- メールでお知らせ、チラシまきの代わりに使おう
- 設定から公開までが簡単・早い
- EXCEL で出力機能～コーチのイベント出欠管理
も簡単に

簡単管理、統合管理

- 予約振替、定員管理、入金管理のミスを減らす
- 売上管理、入金管理も一元化

電話対応に振り回されない
ホームページにも公開可能

JTIA

Congratulation 20th anniversary

There's only ONE
US OPEN BLUE™



Decoturf, the Surface of the Japan Open since 2011.

Ariake Tokyo



Decoturf, the Surface of the US Open since 1978.

New York USA

DecoTurf®

Cushioned Tennis Surface of Champions

スポーツサーフェス株式会社

本社：東京都中央区日本橋室町4丁目4番地3号 TEL. 03-6202-0757

大阪営業所：大阪市西区立売堀1丁目11番17号 TEL. 06-4390-5074

www.decoturf.co.jp

盛田正明テニスファンド (MMTF) に就いて

公益財団法人日本テニス協会 名誉会長 盛田 正明

まずは日本テニス事業協会の20周年をお祝い申し上げます。

さて、私が平成12年に設立を致しましたMMTF(略称)に就きまして、20周年の記念特別号で説明をするようにとのご依頼を受けました。誠に光栄で御座いますが、多分、この財団から送り出しました奨学選手の第4期生である錦織圭君が、世界で目覚ましい活躍をしていることから、この財団は何をしているのか説明をせよ、とのご趣旨かと思えます。

具体的な内容をご説明する前に、なぜこういう財団を作るに到ったかを少しご説明しておきたいと思えます。

私は昭和26年に大学を出て直ぐに、当時設立5年目で未だ100人足らずの中小企業でありましたソニー(株)に入社しました。入社後直ぐに、仙台の大学の研究所に派遣されましたが、その時に研究所のテニスコートでテニスを始めたのがきっかけで、以来テニスがすっかり好きになってしまいました。テニス歴は永いのですが実は一度も正式にテニスのレッスンを受けた事の無い全く我流の素人テニスプレーヤーです。

仕事の面では、ソニーに入社して以来、創業者の一人である井深さんと云う方から、常に「厳しい目標」を与えられて、それに邁進する事で働き甲斐と生き甲斐を感じると云う、「目標人間」に育ってしまいました。

その私が47年もいたソニーを退社した時、自分の目標が無くなった事に気が付き、これは大変だ、自分が死ぬまで持てる目標を何か探さねばと真剣に悩み考えました。

その結果得た結論は、今更自分の目標を持つよりも、若い人に目標を与えて頑張らせて貰う事で、これを自分の目標とすれば、死ぬまで目標に向かって行けるのだと考え付いたのです。

また、井深さんはいつも「他人のやれない事をやれ」と云い続けていました。

これも私の身に付いてしまった考えなので、どうせやるなら自分の好きなテニスで今まで誰もやれなかった事をやって見ようと思いました。

その結果「極めて才能のあるジュニア選手を幼い時から海外で養成したら、きっと世界のトップに立てる選手が養成出来るに違いない」と言う仮説を立てて実際に試して見ようと考えついたのです。

勿論こんな、おそれた事はテニスの素人である私一人で出来る筈が有りません。そこで旧知の吉井栄さんに相談し、栄さんからご紹介頂いた坂井利郎さん、そして坂井さんから丸山薫さんと米沢徹さん(現在は山中夏雄さん)と、テニス界の錚々たる方が協力を約束して下さいだんだん形が出来て来ました。



それに私の親友であるIMGの創業者マーク・マコーマックにこのアイデアを相談しましたら、彼が最近買収したニック・ボラッテリー・アカデミーを使えと云ってくれて、私達と一緒にそのアカデミーまで行って、ニックに直接選手のトレーニングを頼む事が出来ました。

こうして出来上がって来たMMTFが、第一回の選手の選考会を行って最初の選手、不田涼子さん、今井理恵さんをIMGアカデミーに送り出したのが平成12年でした。

最初は私の個人的なグループでしたが、矢張り永続性を考えると財団を設立すべきだと考えて文部科学省に財団設立の申請をしましたが、3年間の実績をみてから認可しようとする御沙汰があって、平成15年の4月に正式に「財団法人」として認可されました。

そして今回の全国の財団の再認可に当たって、平成25年1月から「公益財団法人」としてスタートする事が決まりました。

さて、これから具体的な内容に就いてご説明をしたいと思えます。

先ず第一に、私達の目標を達成するためには「良いと思われる事は何でもやって見よう」「こうした方がもっと良いと判ったら直ぐに改善して行こう」と云う考えでスタートをしました。

ですから、選考の方法を始めとして、全て私どものやっている方法は、前述の吉井さん、坂井さん、丸山さんと



私からなる「デベロップメント・コミッティー」で、問題の出るたびに真剣に討議をして決めております。

従って、毎年選手の選考会の方法も年々改善されて来ましたが、今後も変更があると思います。

大体は、毎年10月中の1日に、あらかじめ私どもが第一次選考した選手の方々に集まって頂いて、IMGアカデミーから呼んだヘッドコーチに選考をして貰う第二次の選考会を行います。

そしてその選考会で選ばれた選手は、翌年1月頃に2週間IMGアカデミーに行ってもらって、第3次の選考会としてトレーニングを受け、その結果をIMGアカデミーから報告を受けると同時に、選考会に行った選手とご家族が、若し奨学選手に選ばれたら最低1年は家を離れてIMGアカデミーでトレーニングを受ける覚悟が有るかどうかなどを確認し、その両者がGOの時に合格となります。

つまり、私どもとIMGアカデミーとが共同で選んだ選手であります。

合格した選手はその年の9月初めから、翌年5月末迄を1期としてトレーニングを受けます。

選手がファンドから支給される奨学金は、年1回のIMGアカデミーと成田空港間の往復チケット、IMGアカデミーの滞在費用（トレーニング、宿泊）、IMGアカデミーが決めた遠征費用、近くの学校に通う学費、また日本の通信教育を受ける場合はその費用です。そしてその費用は直接MMTFから夫々先方の部門に支払われますので、本人に対しての金銭の授与は一切ありません。

そして、奨学選手となって出かける前に、選手の年齢にもよりますが、翌年5月末までに達成すべき、とても厳しい目標が夫々の選手に出されます。そして、その目標を5月末までにクリアすれば翌年の奨学選手としての延長が認められますが、出来なければ帰国となります。

例えば錦織選手はその目標を5年間クリアしてプロとなりました。

また、ラケットや靴など、テニス用品の支給をスポンサー企業から受けるのは自由ですが、若し他のスポンサーなりから金銭の支給が選手に有った場合には当ファンドの奨学選手は中止となります。

なお、奨学選手は将来とも奨学金の返済義務は一切ありませんが、若し選手が世界のランキングの100位以内に入った場合には、年間の獲得賞金の10%をファンドに5年間還元をして頂いて、後輩の奨学金に使わせて頂く事となっております。

以上がMMTFのあらましです。大変に漠然としている様ですが「世界のトップ選手として活躍出来る日本人選手を育てよう」と云う目標だけは明確に持っており、その為にプラスになる事は何でもやってみようとするのが私どもの趣旨だと理解して頂ければ有難いと思います。

また、来年から新しく公益財団法人としてスタートしますと、新しい公益財団法人としての規程に沿うように選考の方法など多少変更があると思います。

以上でMMTFのご説明を終わらせて頂きます。





日本のテニス界 あったらしいもの

公益財団法人日本テニス協会 副会長 渡邊 康二

日本テニス事業協会様の設立20周年を心からお祝い申し上げます、また今後のさらなるご発展をお祈り申し上げます。

実のところ、このJTIA Newsに「日本テニス事業協会の今後に期待するもの」という命題で寄稿するように依頼を受けましたが、私にはとてもおこがましくそのような目線で意見を述べることはできません。同じ日本のテニス界に身を置く立場として、目指すところも夢も同じであろうと確信しておりますから、期待するも何も、(公社)日本テニス事業協会、(公社)日本プロテニス協会、日本女子テニス連盟、(公財)日本テニス協会で構成する日本テニス連合に、新しく発足したテニス用品会も加えて、いかにこの夢に向かって協働できるかであろうと思います。そこで掲題のとおり題目を変えて日頃の思いの一端を述べてみたいと思います。

テニス界のほとんどの人は、2012年の日本のテニス界は近年にたく盛り上がったという印象であったらうと思います。その中心にいたのはやはりなんといっても錦織圭選手でした。オーストラリアンオープン8強に始まり、オリンピック8強入賞という80数年前の記録を想起させる歴史的な活躍、さらに楽天ジャパンオープンでの優勝では多数の新聞の第一面を占め、日本のテニスファンのみならず、テニスを知らない人でも「ニシコリ」の名を知るに至りました。また同時に「添田豪、伊藤竜馬」という名前も浸透しました。

そして誰もが、このところ久しくお目にかかっていない「テニスブーム」の再来を期待し、「今だ、今が日本のテニスを一気に押し上げる絶好の好機だ。」と思われているに違いありません。それほどにこのスーパーヒーローは絶好の好機を与えてくれました。

今こそ何かインパクトを与えないと、ということで考えられるのは、テニスクラブでのジュニア育成、テニス人口の増加、テニス用品の売り上げ増、指導者の育成、プレイ&ステイなどによる普及促進、中学校での硬式テニス促進などがあげられますが、それらは各団体にお任せするとして、違った切り口で、あったらいいなものを取り上げてみました。

テニスの殿堂・ミュージアム

テニス界にも殿堂の設立が望まれます。それにはテニスミュージアムの建設も必須です。日本テニスの百年以上にもわたる歴史は、スポーツ界にあっては大いに誇れるものであります。歴史に興味を持つことが、テニスを支える、愛する原点だと思います。大活躍した選手だけではなく、各方面で縁の下の力持ちで目立たぬ努力を続けてこられた方、長く日本のテニス界を支えていただいた方々などを探り出し、テニス関係団体の推薦によりその方々にスポットを当て、永久にその名を残す制度です。テニス界に携わられる多くの方々はボランティアでの活動です。その方々の労に報い、さらにモチベーションを高めていただけるようにという趣旨での本制度の設立は、将来に向けてのインパクトになると確信します。そのためにはまず、各団体で「表彰基準」を制定しそれを

日本テニス連合で一本化することだろうと思いますが、この制定により自分が、或いは自分の所属する団体が何を成すべきか、ということが見えてくるはずで、各団体が挙げてこのテーマに取り組めばテニスブームの下支えとなるのではないのでしょうか。



賞金ランキング制度

今年の日本男子選

手たちは、1月当初のランキングから揃って大幅にランキングを上げました。6月のランキングでオリンピック出場権が確定するとあって、添田、伊藤はATP大会の賞金額を犠牲にしても、ポイントの取れるチャレンジャー大会を選択しつつ、渾身の努力を積み重ね、ついにその目的を果たしたのです。この計画性と結果の獲得には最大限の賛辞を送りたいと思います。

しかしながら、ゴルフ界と比較すれば、日本のテニス界における賞金の低さは衝撃的です。今年ゴルフの賞金王になった藤田寛之選手の獲得賞金額は1億7千万円超、このうち海外で稼いだ賞金は僅か2百万円。大部分が日本のマーケットです。また話題の石川遼選手は獲得賞金7千8百万円ですが、海外では130万円のみです。一方、錦織選手の年間獲得賞金は約100万ドルで8千万円、楽天オープンでの優勝賞金は2千4百万円ですからあとは全部海外での稼ぎとなります。添田や伊藤両選手にとっても、それぞれ30万ドル、25万ドルと獲得しましたが、殆ど海外での稼ぎです。ここから思うのは、日本のゴルファーは恵まれ過ぎていると言っても過言ではないでしょう。逆に日本のテニス界での統括団体は何をしているのかと叱責を受けても仕方ありません。スポンサー企業への営業力が足りない、或いはテニスがまだまだ社会貢献への媒体になるには力がなさすぎるということなのでしょう。またこれではなかなかテニスをしようという子供たちに夢を与えることはできません。

テニス界もそろそろ賞金ランキングをATPランキングとは別に公表すべき時なのかもしれません。いかに日本では賞金トーナメントが少ないか、あるいはプロがプロとして生きて行くには過酷な世界であるかを敢えて世に示し、批判を受けることによって逆に窮地の一策が見えてくるかもしれません。

いずれにせよ財源が必要な提案であり、それは百も承知ですが、日本テニス事業協会様の設立20周年にあたり、我々テニス関連団体が結束して向かうべき一つの方向として取り上げさせていただきます。



テニス界の輝かしい未来に向けて

テニス用品会会長

ヨネックス株式会社 代表取締役社長 米山 勉

公益社団法人日本テニス事業協会様の設立20周年、あわせてJTIA NEWS! 20周年記念特別号の発行に、心よりお祝い申し上げます。また20年にわたり、テニス界の発展に尽力され、会の礎を築いてこられました関係各位に感謝の気持ちと、深い敬意を表したいと存じます。

我々テニスメーカーは、昨年9月に、メーカー各企業の連携強化と、テニス市場の活性化、需要の拡大、流通、環境、消費者の観点に立った健全な市場の構築について協議し、実行に移す為、社団法人日本スポーツ用品工業会（JASPO）の特別事業の中に、新たにテニス用品会を設立いたしました。事業の最終目的は、テニス用品業界の健全な発展により、国民の生活の向上（体力向上と健康維持）に寄与することにあります。

ともにテニス界のさらなる発展を願う者同士として、民間テニス事業者で組織される日本テニス事業協会様とテニス用品会とは、密接なパートナーシップのもと、活動していくべきと考えております。テニスというスポーツが、健康や教育の現場にどのような役割を果たせるか。そして、これからの社会にどのような価値を提供していけるか。互いに連携を取り、時にはこれまでの成功事例を参考に、そして時には斬新なアイデアを持ち合いながら、様々な課題に取り組んでいくことが重要であると考えます。

また、新しい活性化事業提案、将来の高齢化・少子化を考えた普及事業、メディアの活用、さらにテニス市場拡大のための、2020年東京オリンピック招致事業協力等の大きな課題には、テニス4団体で形成されております日本テニス連合を柱とし、取り組んでいかれることでしょう。もちろんテニス用品会も、微力ながら役割を果たしてまいりたいと思っております。

日本テニス事業協会様におかれましては、これまで

も、テニス産業をサービス産業ととらえ、人材育成の充実と推進、またITF（国際テニス連盟）が推奨し、日本テニス連合でも推進する「PLAY+STAY」の普及とリーダーの育成、普及イベントの積極的な活動（テニスの日、有明の森ス



スポーツフェスタ、東京都知事杯有明チームテニスコンペティション等)、数々の調査および研究をしてこられました。そして、テニス活性化委員会設立も大きな事業の1つでありました。多くの国民が、テニスを通して、健康な生活を送る事に大きく貢献され、スポーツの持つ感動、喜び、充実感を提供されたのではないかと思います。これからも、雑賀会長を中心に活動を活発化され、日本のテニスクラブ・テニススクールが大きく発展されることを、テニスメーカーとして期待するものであります。

我々も、最高の製品をお客様に提供し、スポーツ（テニス）を通して、国民の健康、ひいては生きる喜びを創造するべく活動をして参ります。是非とも、パートナーシップをより深め、協力し合い、国民生活の向上に、大きく寄与できればと考えております。

これからも、心身ともに健康で輝かしい未来に向け、スポーツの発展、テニス産業のさらなる繁栄に向け、会員の皆様方がますます力を注がれますことを祈念しております。

今後、益々のご発展をお祈りいたします。

日本のテニススクールは世界に誇れるシステムだ！

テニス・フォトジャーナリスト 塚越 亘

日本テニス事業協会 20 周年おめでとうございます。テニス・フォトジャーナリストの塚越 亘です。

そもそもこのような仕事を始めるきっかけはアルバイト・コーチでした。冬はスキー教師、夏はテニスコーチ！そんな事を言うとう優雅で聞こえは良いですが、今から 40 数年前はそんな職業は成り立っていない時代でしたし収入は不安定でその日暮らしてました。今ではテニスコーチと言うと立派な職業として認められていますが、当時は「エ～ッ！選手としての実績がないのに、テニスで生きていけないの？大丈夫？」と心配されました。

テニスは高校教師の父が軟式テニス部の顧問だったので、小 2 ぐらいからやっていました。前橋高校時代は毎日軟式テニスをやり真っ黒になっていました。独協大に入ったのですが、ラッキー？なことに学園紛争で学校は閉鎖、伊勢丹テニススクールで硬式テニスを習い始めました。毎日テニスがしたかったので、アルバイトできないかとダメ元で宮城黎子・鶴原謙造校長に頼んだのがきっかけでアルバイト・コーチをする事ができました。プロテニス協会佐藤直子理事長や横浜テニスカレッジ吉田校長、アメリカ、ニューヨークでテニススクールを開校している手島校長などが伊勢丹ジュニアの一期生、生意気な？ジュニア達の球出しコーチなどしていました。今テニス事業協会で活躍なさっている多くのコーチの皆さんや経営者の皆さんとは面識があり一緒にテニスの夢を追いかけていた仲間です。名前をあげると広報委員長の金田彰さん、事業委員長の栗山雅則さん、森金賢至さん、渋谷博美さんなどとは若い頃は世界の頂点？を目指し、試合したりしました。

40 年前はまだまだ一般の人を教えるスポーツ・コーチ業は成り立っていない時代でしたので、そのような事が盛んな海外に行こうと思っていました。そして最初に海外に行く事ができたのが、アメリカ、サンバレーのスキー教師でした。

その頃はスキーが全盛期でした。それと海外旅行が流行り始めた時でした。ヨーロッパスキー旅行と言うとすぐに定員いっぱいになる程の人気でした。それを聞いたアメリカ、サンバレースキー場が「アメリカにも日本の客を呼ぼう」と日本に市場調査に来たのです。志賀高原が姉妹都市になり法坂スキー場がサンバレースキー場と名称が変りました。日本人客のために日本人インストラクターも一人募集しました。競技をやっていた実力派のスキー・インストラクターが一人雇われました。私はその時点では雇われず落選したのですが、スポーツ業界誌のアルバイトでスキー試乗会の記事を書いた事もあるので「私は記者としてサンバレーを宣伝できる。雇えばメリットがある」とダメ元で売り込みました。なんとそれが成功、サンバレースキー場で 4 シーズン教えました。

サンバレーはアイダホ州の山奥にある文豪ヘミングウェイも愛した長期滞在型高級リゾート地。苗場スキー

場の 10 倍の大きさ、スキー客は 1 週間単位、シーズン単位で来ます。スキー教師の数は 200 人。その内外人教師はスキーの本場オーストリア、スイス、イタリアなど 100 名以上いました。お客はファミリーで来る人が多く、スキー技術はまちまちなので、そのために全員がスキースクールに入り、技術レベルに応じたコースで滑ります。上手な人は元オリンピック選手だったインストラクターから教わり、難しいコースで滑ります。スキーが初めての人でも大丈夫、自然とスキーが止まるなどらかな初心者用の山があるのです。驚く事に、初心者を教えているインストラクターは凄くスキーがヘタな教師が多く、年寄りもいて、日本だったら雇ってもらえそうもない人達でした。でも、やさしく、フレンドリーで忍耐力のある公認スキー教師でした。



アメリカプロスキー教師協会の認定試験を受けてみました。そこではスキー教師のスキーの技術ではなく、スキーを教える技術、グループレッスンを教える技術などを重視していました。その当時の日本のスキー教師試験は、「いかに教程どおりにデモンストレーションして滑れるか、どちらかと言うとスキー技術を重視していました。アメリカでは教師のスキー技術よりも、いかに安全で楽しく教える事ができるか」、を重視していました。スキーもテニスも中途半端な技術レベルだった自分にとっては自信がつく、目から鱗（うろこ）の体験でした。

アメリカのスポーツ・コーチはこれからそのスポーツを始めてみようと言う初心者大切にします。そのためにはオリンピック級選手よりも保育園や幼稚園の先生のような忍耐強くやさしく世話をしてくれる人の方が数多く必要なのです。スポーツ産業は底辺の広さ、底辺を支えている人で成り立っていると感じました。

スキーシーズンが終わったので、テニスもアメリカで教えようと思いトライしたのですが、テニスコーチは個人事業主が多くビザが取れませんでした。テニスクラブは一人のプロがレッスンからプロショップの経営、コート管理をやっているパターンがほとんどでしたから。

それならアメリカ中のテニス大会、テニス施設、テニスに関する何でも見てみようと思つてバンを買って移動しました。全仏、ウィンブルドンなどのヨーロッパのテニス・シーズンは全米各地にいたスキーのお客さんの家に車を預け、



ヨーロッパに移動、同級の神和住純、坂井利郎などのツアーについて回りました。ダメ元で記事と写真をテニスマガジンに送ったところ、そのような記事がなかった時代だったので採用され、これがテニス・フォトジャーナリストのきっかけとなりました。

トップスピンのピックブレードを取材、親交を深めました。ホップマン・テニスクャンプではホップマン氏と一緒にまだ10代のシャイなマッケンローと食事、その頃そこで教えていたボブ・ブレットと仲良しになりました。

ジュニア育成に熱心だったグリーンテニスクラブの飯田藍さん、町田ローンの三浦コーチ、京王テニススクールの赤城先生達から日本のジュニアをテニスの本場アメリカに連れて行きたいと相談されました。そこで、18歳以下のオレンジボウルはボルグが優勝するなど国際的な大会だったのですが、12歳、14歳以下のオレンジボウルはローカルの大会だったので、ダメ元で手紙を書いたところ、ハウジング付きで受け入れてもらえました。井上悦子、まだ小学生だった村上武資（フェド杯監督）、丸山薫、丸山淳一（森田あゆみコーチ）、中野陽夫（クルム伊達コーチ）、松岡修造兄弟、飯田栄兄妹などをオレンジボウルの試合そしてホップマンキャンプ、ポロテリーキャンプに連れていったのを懐かしく思い出します。今でこそポロテリーは錦織圭などが練習しているIMGアカデミーの校長として有名ですが、当時のポロテリーは自分のアカデミーを立ち上げたばかりで売り込みに必死でした。

デニス・バンダミア氏のテニスクリニックも取材しました。バンダミア氏はキング夫人のジュニア時代のコーチでした。1973年9月、キング夫人が元ウィンブルドン男子チャンピオンのボビー・リッグスとヒューストンのアストロドームで3万1千人の大観客を集め、男女の試合をして勝ちました。その時、バンダミア氏がコーチとしてベンチに座りました。ウーマンリブの全盛期、全米中、世界中に中継され、3600万人が見た伝説の試合です。その試合も取材したので、そんな話をすると大歓迎されました。

バンダミア氏はテニスコーチになりたい人のための



テニスユニバーシティーと言うクリニックをやっていました。テニスの宣教師と自分で言っているように、テニスを広めるために世界中を回っています。トッププレイヤーがやる難しい技術も初心者でもできるように分析し、段階的に教えます。その分析力、指導力、熱心さは感心しました。

バンダミア氏に日本でもテニス指導者のためのクリニックをやってみないかとダメ元で話しました。ブリヂストンがスポンサーになり日本でバンダミア氏のテニス大学が実現しました。7、8年ほど続きました。「テニスメンタルタフネス」の著者、ジム・レアー氏もスタッフの一人として参加しました。

日本初のインドアテニススクールを開校した中嶋康博校長（現日本テニス事業協会参与）を始め、日本中の熱心なテニスコーチが全員と言っていいほど集まりバンダミア氏のクリニックを受けました。日本ではファッションとしてラケットを持ち歩くなど、凄いテニスブームの時代だったので、真面目で熱心なコーチ達は理想の指導法を求めているのでしょうか。

中嶋さん始め熱心な日本のコーチ達はそれを日本のテニススクールに合うように非常にうまく生かし教え方のカリキュラムを作りました。

日本のテニススクールのカリキュラムそして運営方法は日本独特の気配りと共に他の国にはないユニークなものとなっています。アメリカで生まれたセブンイレブンのコンビニ産業は日本のきめ細やかさ、商品管理などでより確かなものとして育ち、中国はじめアジアそして世界へと逆輸出されるほどになっています。皆さんはどう感じられていられるかわかりませんが、海外を見てきた私から見ると、日本のテニススクール事業はコンビニ産業と同じように世界に誇れるシステムと考え方、サービスを持っています。

チャンピオンを育てるにはまた違う要素が必要となりますが、日本には底辺を拡げ、育成する世界に誇るテニススクールカリキュラムとシステムがあるのだから必ず錦織圭に続くチャンピオンは産まれると信じています。日本テニスの底辺を支えている日本テニス事業協会の皆さん、自信を持ってこれから一人でも多くのテニス好きを増やして下さい。好きなテニスで幸いにも生きのびる事ができた私ですので、私にできる事がありましたらこれからも喜んで協力させていただきます。テニスに恩返しできたらと思っています。

BRIDGESTONE

あなたと、つぎの景色へ

安定感が生む攻撃力

菊池玄吾 (フリー)

青山修子 (近藤乳業)

山外涼月 (橋本総業)

New **X-BLADE**

シリーズ4代目となるNEW X-BLADEは、従来のX-ブレード製法による「しなり」「食いつき」の良さに加え、新たに金属繊維ナスロンを取り込むことで「安定感」も兼ね備えた。

面プレを抑え、安定した攻めを実現。攻めのプレーヤーへ、本格競技派モデル X-BLADE誕生。

- X-BLADE 325 価格 ¥34,650 (本体 ¥32,000)
重量 (g・平均) 325 フェースエリア (inch²) 93 ラケット長 (inch) 27
- X-BLADE 315 価格 ¥34,650 (本体 ¥32,000)
重量 (g・平均) 315 フェースエリア (inch²) 95 ラケット長 (inch) 27
- X-BLADE 310 価格 ¥34,650 (本体 ¥32,000)
重量 (g・平均) 310 フェースエリア (inch²) 98 ラケット長 (inch) 27
- X-BLADE 295 価格 ¥31,500 (本体 ¥30,000)
重量 (g・平均) 295 フェースエリア (inch²) 100 ラケット長 (inch) 27
- X-BLADE 280 価格 ¥31,500 (本体 ¥30,000)
重量 (g・平均) 280 フェースエリア (inch²) 103 ラケット長 (inch) 27.25

■ 表示価格はメーカー希望小売価格で、参考価格です。
■ 表示価格は消費税込価格と、() 内に消費税抜き本体価格を併記しています。■ ラケット (付属品ふくむ) の原産国は全て中国です。



ブリヂストンスポーツ株式会社

商品のお問合せはお客様コールセンター 0120-116613 平日10:00~17:30 (土日・祝日および当社指定休日は除く)

www.bs-tennis.com

この硬さが、
コントロールを
極限まで磨く。



OG-SHEEP
STRONGDIA

NEW COLOR
**BLACK
DIA**

初回限定パッケージのみ!
キラキラ光るダイヤモンド型ダンパナーを
もれなくプレゼント!

TENNIS ^{テニス} TS430 DURABILITY 耐久!!

STRONGDIA



+Damp

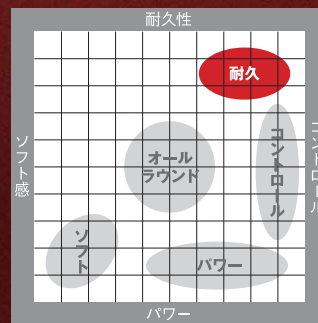
BLACKDIA LIMITED
GOSEN®

TS430 ストロングダイア OG-SHEEP® STRONGDIA

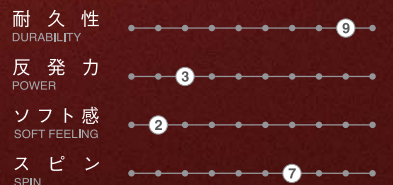
ボールの飛び過ぎを抑えたいハードヒッター向け新感覚ナイロンガット。
ナイロンで最も硬く、今までになかったシャープな打球感を実現!!

発売中!



◆ガット特性カテゴリーマップ



◆ガット性能(特性カテゴリーの中での性能比較)



◆カラー

 ホワイト (TS430-W)
 ブラックダイア (TS430-BD) **NEW**

素材: 高強力糸、特殊断面形状、
表面特殊加工
ゲージ: 1.35mm-1.39mm (15L-15GA.)
長さ: 12.2m (40FT.)
適正テンション: 45~60lbs

日本製 **¥2,415** (本体価格 ¥2,300)

対象プレイヤー 学生プレイヤー・ハードヒッター

◆対応プレイヤー層

- アスリート: 50~60lbs
- アベレージ: 45~55lbs
- ウェルネス: —

◎20張り入り (TS430BD20P) **¥29,820** (本体価格 ¥28,400) ※ホワイトもあります。



設立20周年に寄せて

テニス界をご支援いただく、橋本総業株式会社の橋本政昭社長をお訪ねしました。

日本テニス事業協会の20周年を記念して、テニス界発展のためのお考えや取り組みについてお話しいただきました。

テニスの未来のために

橋本総業株式会社 代表取締役社長 橋本政昭

橋本総業株式会社 橋本政昭 社長 (右)
日本テニス事業協会 雑賀 昇 会長 (左)



橋本社長

■ テニスとの出会い

雑賀：テニスとの出会いはいつですか。

橋本：麻布中学3年生の時、友人が硬式テニスの同好会を作って練習を始めたのがテニスとの出会いでした。昭和40年頃のことです。当時は軟式テニス部しかありません。学校近くのコートや軽井沢で練習をしたのを覚えています。

雑賀：東大に入られてからはいかがでしたか。

橋本：東大で初めての同好会を友人が作りました。そこに参加していました。夏からはヨット部に移ったのでほんの少しの時間でしたが。

大学ではヨット部での活動の方が長く、大学3年生で関東ベスト8に入り全日本に出場しました。翌年は東大が関東インカレで優勝。個人でも全日本で15位になることができ、オリンピック候補選手として強化合宿に参加しました。昭和49年の春、江ノ島にイギリス人のオリンピック銀メダリストのコーチを招いての一週間ほどの合宿でした。

大学院の時にコーチを、それから10年後に監督になりましたが、その2年間、平

日は仕事、土日はヨットの日々でした。子供が生まれる時期で会社と家庭とヨットの3つを続けることはとても難しくなり、次の監督に引き継ぐことにしました。

金田：それからお仕事に専念なさって、再びテニスと出会いをされたわけですね。

橋本：デビスカップやフェドカップの監督をされた本井満さんのジュニア南米遠征をサポートさせていただいたのが、再びテニスに関わるきっかけでした。子供たちの遠征費用は親御さんが出していましたが、本井さんの遠征費が捻出できないということで、応援させていただくことにしました。

しばらくして、メキシコにいた友人から素晴らしいプレーヤーがいるから一度会ってほしいかと紹介されたのが、当時、海外を転戦していた杉山記一選手です。サポートする人がいないので面倒見てほしいかという話をいただき、杉山プロをサポートするようになったのが6、7年前のことでしょうか。その後、秋田史帆選手や田中真梨選手などと出会うことになります。



■ 実業団リーグ戦への挑戦

実業団にチャレンジしようと思ったのは2012年1月です。年に2回、神宮テニスクラブのインドアでテニス界や財界人の友人50名ほどに参加いただき「テニス会」を行っております。トーナメントでテニスをやった後、近くでパーティーを行うのですが、契約プロがいるのなら、実業団リーグへ出てはどうかと言っていた方がありまして、チャレンジすることにしました。2013年から

リーグ戦に出場しようと思っています。

初年度から1位になることを目標にしています。選手たちも徐々にその気になって来ています。チーム橋本総業(Team HAT)は田中真梨選手をキャプテンに、山外涼月選手、秋田史帆選手、高畑寿弥選手、牟田口恵美選手の5人となります。

雑賀：優勝を狙える楽しみなチームですね。

■ 強化の仕組み「GSファンド」

橋本：ヨットの試合では、必ず浜に全員で集まり大声でエールを送って、選手が出ていくのですが、テニスはそういうものがありません。その意味で寂しいというか、盛り上がり欠けた所があると思っていました。

雑賀：ちょっと寂しいですね。典型的な個人戦だからですかね。

橋本：テニス界でも、もっと選手と一般の方々との繋がりを作るべきだと思います。日本にはプロ選手を育てるための組織化された仕組みがまだできていません。選手とコーチを家族や誰かが個人的に支援するというのが一般的です。そこで、私達は「GSファンド」という支援体制を作ってみました。

「GSファンド」は将来グランドスラムに出場する選手を育てることが目的です。2012年1月に一体で組んでテニスを楽しむ会を企画しました。選手との交流を通して賛同者からお金をいただき活動の資金としていきます。

初年度は35名ほどの方に支援していただき、営利目的ではない強化の仕組みが、お陰さまで好調にスタートしています。2013年にはこれまで任意団体だったファンドを「GSチャレンジ財団」として法人化したいと考えています。

■ GSチャレンジ財団の活動

初年度は財団設立に必要な300万円と活動資金を年間200万円程集め、それを資金として計画的に活動を行っていきたい

と思っております。今後は以下の活動をしてまいります。

1. ジュニアテニス大会の開催・支援

2012年は須玉で開催されたジュニア大会に資金援助をしました。バーベキュー大会をやったりと参加の皆さんに喜んでいただくことができました。

2. プロテニス大会の支援

2012年は、TTCで行われた男子の大会に50万円ほど支援をさせていただきました。今後はGSファンドからの資金は賞金として使うように考えています。ゴルフに比べると賞金が少ないので、選手のモチベーションアップに繋がればと考えています。

3. 地域トレーニングセンターの支援

元デビスカップ監督の竹内映二プロと元フェドカップ代表の吉田友佳プロの選手育成の活動を支援していくことを考えています。また、吉田プロにはチーム橋本総業の選手サポートもお願いしています。

4. セミナーの開催

吉田記念テニス研修センターでのセミナーを支援させていただきたいと考えています。その他にも講演などの活動を行う予定です。

5. テニス合宿の開催

チーム橋本総業の1回目の合宿は温かいタイでやりますが、選手の“体技心”の進歩につながればと思っています。

雑賀：組織化された支援体制ができることは素晴らしいことです。楽しみです。

■ 選手との人間的な繋がり

橋本：プロのテニス選手は選手を辞めたら、中卒とか高卒とかにしかありません。ですから所属選手には通信教育や選手活動をおえたら大学に行くよう勧めています。

金田：選手に対する幅広いサポートを考えていらっしゃるんですね。

橋本：残念なことに、テニス界では「選手対団体」とか「選手対企業」とかの関係が主となり、選手一人一人との人間的な繋がりが希薄だと感じています。私達のチームでは、練習会の後は一緒に食事をしています。勝てば祝勝会で祝います。そんな人対人の関係がとても大切だと思っています。

金田：社長も一緒にテニスをなさるのですか。

橋本：やっています。

雑賀：橋本社長のような方にお世話になって、選手の皆さんも幸せですね。

橋本：うちの選手は試合で勝ったら、必ず、力になってくれた方々や橋本総業にお世話になっていることを挨拶してくれます。誰かがしっかりしたコメントをすれば、チーム全員が自然とやるようになります。そして、それがチームワークとなります。

困った時に助けてくれる人間がいるからこそ、自然に言葉にできるのだと思います。選手との人間関係が希薄だとそうはいきません。

選手と視線を一緒にしてやっていくことが大事です。経営の一番の基本でもあると思います。



■ 3つの原則

橋本：ヨットの世界では朝の4時半に気象情報が出ます。それをもとに気象図を書いて、その日の風と潮を予測します。分析することが日常的に必要です。

雑賀：非常に科学的なのですね。

橋本：そういう積み重ねがないと勝てません。私達は東大紛争で上級生がいなかったため、大学2年の時、他大学と戦うために「3つの原則」を決めていました。

一つ目は「練習時間を一番長くすること」

私たちより上級学年の他大学に勝つためには一番先に船を出して、最後に海から上がる強い気持ちが必要でした。風が強い場合でも、どこかの学校が練習を始めたなら、必ず自分達もやるようにしていました。長い時間練習に取り組むために昼飯を弁当にしたことで、他大学より1時間多く練習することができました。

二つ目は「徹底して民主的にやること」

上級生も下級生もなく民主的にやることです。対等な人間関係がチームワークを作ると思っていたからです。

三つ目は「科学的にアプローチすること」

仲間が風速計と流速計を考えて船につけました。私は和訳されていたすべてのヨットの本を読み尽くしました。経験の少ない私達が勝つための大事な要素でした。

雑賀：徹底されていますね。

橋本：今でもその3つは変わりません。「リーグ戦への挑戦」や「GSファンド」でも活かしていきたいと考えています。

ヨットの練習では基礎と確率を重視していました。ストップウォッチを持って、その練習が何分でクリアできるか徹底的に訓練します。精度が上がると、スピードが上がっていきます。考え方はテニスでもまったく同じです。そういう基礎的な訓練をきっちりやらないといけなと思います。また、スポーツでは「心技体」と言いますが、本当は「体技心」ではないかと思っています。練習時間が長かったら体力がつかますよね。次に基礎的なことを徹底的に鍛えて技を磨く、それができてこそ精神的な強さが出てくるのです。精神的な強さは鍛錬するものではなく、練習の中から培うものだと思います。

雑賀：先ほど伺った「長く練習する」「民主的」「科学的」の3つのことを社内でも徹底されていらっしゃるのでしょうか。

橋本：社内でもやっています。勝つためのメソッドはすべて同じだと思うからです。テニスも、ヨットも、会社の経営だって同じだと思います。

人対人の繋がりを大切にする「チーム橋本総業」の1年目から優勝を目指した挑戦は、実業団リーグの台風の目となることでしょう。また、選手とファンが一体となりテニス界を支援する「GS チャレンジ財団」の活動に大いに注目したいと思います。

今後も、橋本社長のように応援いただく方々がさらに増えていくことで、テニス界が盛り上がっていくことを願っております。

最後に、お忙しい中、ご協力いただきました橋本社長ならびに橋本総業株式会社の皆様に感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

取材：会長 雑賀、広報委員 金田、丸山

Special Thanks

橋本総業株式会社

〒103-0001
東京都中央区日本橋小伝馬町 9-9
電話：03-3665-9001
URL：<http://www.hat.co.jp/>

■ 事業内容

住設機器の施工、販売
空調機器の施工、販売
管工機材の販売
システム開発および販売
教育、研修の企画

■ 設立 1938年3月15日

■ 創業 1890年（明治23年）

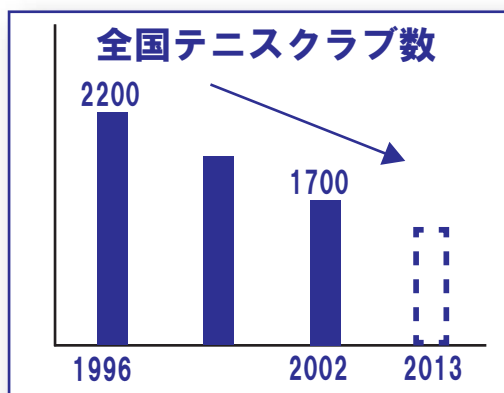
■ 株式公開 JASDAQコード【7570】

■ 資本金 5億4200万円

祝 日本テニス事業協会設立20周年

相続税大増税から テニス事業を**守**る!

テニスクラブの数は相続により大きく**減**っています。



※経済産業省 特定サービス実態調査

閉鎖の原因

1. 相続
2. 事業転換
3. 経営不振

※弊社調査

テニスの**危**機に対し、このようなお手伝いをしています。

相続

納税準備
争族回避
評価圧縮

財産を相続の度に失わないためには、現金納付の可否がポイントとなります。着実に納付原資を積立られるよう、長期計画をご一緒に策定します。

相続税が納税できても、財産分割で家族が争えば相続対策は失敗です。事前の分割準備や信託を使った新しい分割方法などを提案します。

相続税を下げるには、多くの対策を組み合わせ、できるだけ早く始めることで、より少ないリスクでより大きな効果が得られます。

不動産

収支改善
有効活用
購入売却

賃料下落や空室増加で収入増加が難しいなか、支出の見直し、金利見直しなどを含め税引き後手残り増加のアドバイスを致します。

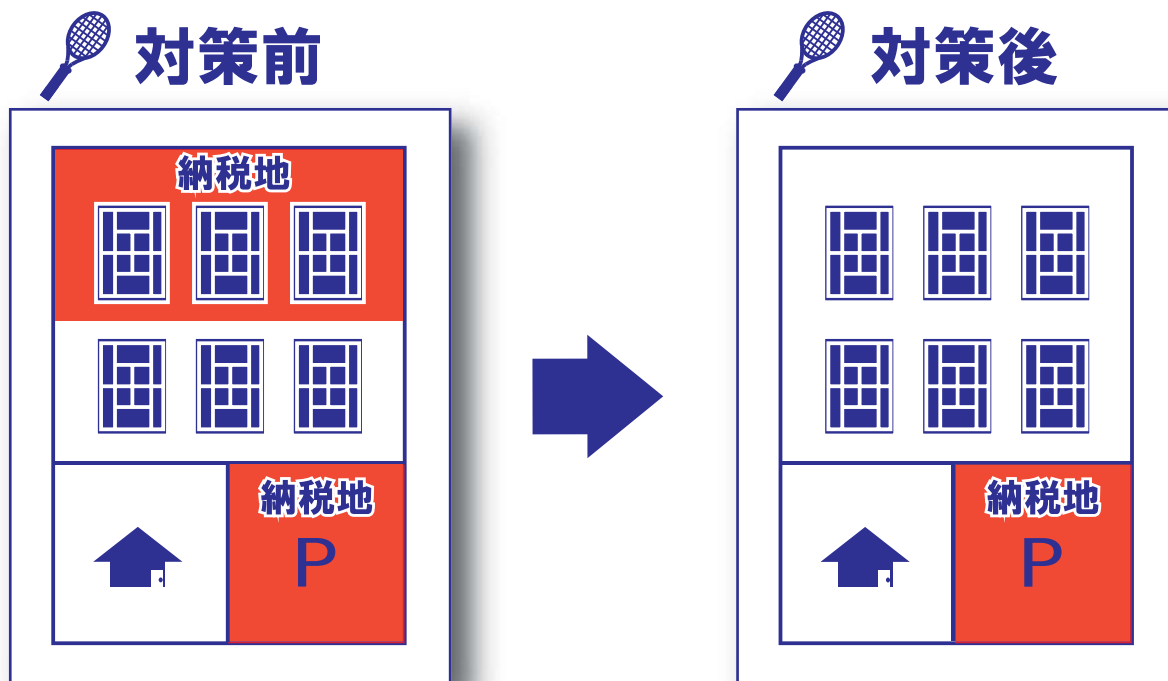
ご所有不動産が有効活用できるかの検討に始まり、税制面や相続対策、市況変化など統合的な見地から専門家と協働して最適な活用を提案し購入や売却の提案から、売買時期や売却条件の精査、税務・法務面のチェック、購入、売却後の処理までワンストップサービスでお手伝いいたします。

運用

ポートフォリオ改善
分散投資
海外運用

不動産価格が目減りが顕著な中、円滑な財産承継を実現するため、資産3分割の原点に立ち、お客様の立場に徹した最適なアドバイスを提供し投資において「種類」「対象」「時間」を分散させることにより、それぞれがもつリスクのベクトルを最適化し、リスクを下げるアドバイスを提供します。日本だけで資産を保有・運用することは得策ではなくなってきました。世界の富裕層が利用する海外プライベートバンクや保険会社をご紹介します。

早めの対策により相続は**必**ず乗り切れます。



※あくまでもイメージのものであり、実際の資産内容、対策内容、今後の税制変更等により結果は異なります。

20周年特典として協会会員の皆様には**無料**で現状分析～対策立案までコンサルティング致します。

財産のことなら青山。

お客様の財産に関わるお手伝いに欠かせない不動産ソリューションのスペシャリストをはじめ、保険会社、銀行出身者や税理士・公認会計士といった金融、税務、財務の専門家、約100名が働くプロフェッショナル集団です。

安心して私たちにおまかせ下さい。



Aoyama
Zaisan
Networks

株式会社 青山財産ネットワークス

Aoyama Zaisan Networks Company, Limited

(東証マザーズ上場)

〒107-0052 東京都港区赤坂8丁目4番14号 青山タワープレイス3階

TEL: 03-6439-5800 FAX: 03-6439-5850 <http://www.azn.co.jp>

お問い合わせ・ご依頼は、担当：有田・松原までお願い致します。

※弊社は2012年7月5日から株式会社船井財産コンサルタンツより、社名変更致しました。

設立20周年に寄せて

日本テニス事業協会 20 周年を記念して、俳優 渡辺篤史さんにテニスとの出会い、テニスへの思いを語っていただきました。



神宮でテニスを楽しむ

俳優 渡辺篤史さん

渡辺篤史さんは 1947 年生まれ。1961 年に俳優としてデビュー。近年はテレビの情報番組、ドキュメンタリー番組、テレビ CM のナレーター、リポーターとして活躍されています。テレビ朝日系列『渡辺篤史の建もの探訪』でもお馴染みです。

大のテニス好きとしても知られる渡辺さんから、日本テニス事業協会の設立 20 周年を記念してテニスの素晴らしさについてメッセージをいただきました。

■ テニスとの出会い

東京の二子玉川周辺の岡本町に静嘉堂文庫（せいかどうぶんこ）というところがあります。旧三菱財閥所蔵の書物や美術品があるところですが、周囲が公園になっています。そのあたりにマンションを買って暮らし始めました。

ドラマの役作りで、1年ほどボクシングを練習していた時期がありました。NHK の演出家の方に「練習しておけよ」と言われて始めたのですが、台本をいただいたら、なんと、試合会場の前で怖くて逃げ出してしまうボクサーの役でした。

そんな訳でジョギングをしたり、トレーニングをしていた時に、近くのテニスクラブのメンバーで私のファンだとおっしゃる方に「渡

辺さん、テニスをやらないのですか。一緒にやりましょう」と声を掛けていただくことがありました。最初はテニスなんかと思っていたのですが、何度も誘われるうちに、とうとうやることになってしまいました。

ラケットを握ってみると、ボールは当たらないし、負けん気が強いものだから「もうちょっと」といっているうちに、すごく良い運動になると感じて楽しさが分かってきました。その岡本町テニスクラブに入れていただいたのが 28 歳頃でしょうか。それが私のテニスののはじまりでした。

■ 人生を楽しむためにある

40 歳代半ばで仲の良い友人が先にあの世に行ってしまったことから、ストイックに仕事に生きてきた自分を見直し、いろいろなことを考えた時期がありました。それをきっかけにして「南ヨーロッパの人達のように、もっともっと人生を楽しむべきだ」と思うようになりました。

青春の 1 ページともいえるべき岡本町テニスクラブがなくなり、その後、田園テニスクラブへ、そして多摩川園ラケットクラブに籍を置きました。残念なことにそのクラブもなくなって、10 年ほど前に、神宮テニスクラブに入会させていただきました。今は素晴ら

しい環境で週 3、4 日プレーを楽しんでいます。

■ テニスは文化

ポーランドのワルシャワでは第 2 次世界大戦で荒廃した旧市街の街並みを煉瓦のヒビに至るまで復元しています。ドイツのドレスデンでは爆撃のために瓦礫の山と化した聖母教会を何年もかけて修復しています。壊れた破片に番号を付けて、一つ一つ組み立てるジグソーパズルのような緻密な作業です。そんな風に文化を受け継ぐことは本当に素晴らしいことです。

それと同じで、スポーツも時代を越えて引き継がれるべき大切な文化だと思います。テニスも芸術や建築物に並んで大切にすべき文化なのです。

ヨーロッパではクラブが地域の子供達を育てる形ができていますよね。日本のテニスクラブは若い人たちが少ないです。これは本当に由由しきことです。

東京の世田谷区には 30 年前は 30 か所のテニスクラブがあったのに、今ではほとんどなくなり、都心部で民間テニスクラブが生き残ることは大変なことだとお聞きしています。ぜひ、税制を変更して、国民が楽しむ場としてテニスクラブを存続できるようにすると良いと思っています。守るべきものとしてご理解いただけることを強く願っています。

■ テニスを楽しむために「譲り合い」

テニスにルールがあるように、会員として手を結び、楽しむためには「お互いに好意を出し合うこと」が必要と思っています。時として我儘が出てしまう方もいますよね。互いに譲り合って、温かい気持ちでテニスができるとうれしく思っています。

私は睡眠を多くとるように心がけています。体調が良いとおおらかな気持ちで楽しくテニスができますし、アフターテニスでの仲間達との酒が最高に美味しいですよ。そんな時、人生を楽しんでいると実感します。

取材協力：明治神宮外苑テニスクラブ

神宮テニスクラブで
思うこと

テニスは丈夫でなければ、健康でなければ出来ない。プロになる訳ではないが、より技術の向上を目指し、老いても若きもそれを楽しみプレーする。畑仕事も、日差しを浴びて体を使い、ひと汗かいてザブツと風呂に入り、晚めし。なんかテニスに似ている。路上では出せないような声も時に出してしまおう。短時間で体を鍛え、ストレス発散、趣味を通して仲間が出来る、アフターでは酒を酌み交わし、めしも喰らう。ひと汗かいて美味しいもの。これこそテニスの醍醐味だ。思い切り運動したあとは水の一滴が有りがたい。めしの一粒が有りがたい。神宮テニスクラブは交通の便が良く、緑が美しい。都心でありながらうれしい環境である。会員になれたこと有りがたく思い感謝しています。

平成二十四年 十二月

渡辺篤史



TIA (アメリカテニス事業協会) について

理事 飯田 浩一

Tennis Industry Association (TIA) は、アメリカ合衆国におけるテニス普及を推進する団体です。1974年にテニス用品メーカー協会の関連団体として設立され、現在は800以上のテニス事業者を会員として、テニス市場の健全な成長のために幅広い活動を展開しています。

テニスの普及にあたって最近 TIA が頻繁にアピールするのが、『「テニス」を一つの「ブランド」ととらえ、プレーヤーも事業者も、そのブランドを共有し価値を高める仲間として手をつないでいこう』という考え方です。

そしてテニス市場を成長させるための TIA の活動の主眼は、次の4つにあるとしています。

1. テニス市場の具体的な成長目標策定： テニスのヘビーユーザー（Frequent Players: 年間21回以上プレーする人々）に対する働きかけが、テニス市場の成長に直結する。従って、USTA やその他テニス関連団体との協調の下、さまざまな技術、ツール、人材を投入して、ヘビーユーザーの拡大を図る。2020年に1,000万人のヘビーユーザーを獲得することを目標とする（2010年現在は480万人）。
2. コミュニケーション戦略： 各テニス事業者の様々な活動をPRし、結果としてテニスに対する需要を喚起させるため、コミュニケーション活動を強化する。Growing Tennis System という統合型ウェブサイトは、テニスビジネスとテニスプレーの両方に関する情報を集約させており、テニスに関する最大のデータベースとなっている。月間に400万人以上の消費者が、テニスに関する種々の情報を得るためにこれらのサイトを閲覧している。
3. 「テニス」ブランドの共有推進： 各地テニス協会、プロコーチ、メーカー、小売店、テニス施設、建設業者、トーナメント主催者、メディア等、テニスビジネスに関わる全ての主体と「協働」し、「テニス」ブランドの強化のための各種活動を推進する。
4. 市場調査の強化： 年間に約80件の市場調査を実施し、その調査結果を公表している。テニス事業者および関連団体の意思決定に資することを目的に、テニス人口、プレー動向、用具販売、需要、価格推移などの情報を提供している。今後は調査対象をアメリカ以外の国にも広げる予定である。

TIA 会長の Jon Muir 氏によれば、今後 TIA は、主なスポーツ種目の中でテニスの位置づけをさらに上げていくために、子供向けテニスの推進、小売分科会の設置、USPTA および PTR と協調したテニス従事者の待遇改善などにも注力する方向との事です。

2012年テニスプレーヤー動向調査結果より

TIA はテイラーリサーチ社に委託して、テニスプレーヤー動向調査を行っている。これは固定および携帯電話による一般消費者への聞き取り形式で実施され、アメリカにおけるスポーツに関する最大の市場調査の一つである。

この最新の調査結果によれば、アメリカにおけるテニスプレーの体験者数（プレーヤー数）は、2012年に総計2,800万人に達し、前年比4%の拡大を見た。これは1988年の調査開始以来、最多となった。

年齢別の分析によれば、最も人数が増加したのは6歳から11歳の子供たちであり、前年比13%の大幅な増加を示している。過去2年にわたりUSTAは「10 & Under Tennis」を、テニス業界挙げての協力の下推進しており、この成果が顕著に表れている。USTAは全米371か所において計4,400面の子供サイズのテニスコート設置を支援し（現時点での子供用コートの総数は10,000面を越える）、レッド、オレンジ、グリーンの各子供用ボール出荷数は2012年の1-3四半期中に41%の増加を示した。

その他のテニスプレーヤー動向としては、多頻度プレーヤー（年間21回以上プレー）の数が順調に伸びている。2011年の480万人から530万人に増加した。TIAではこれら多頻度プレーヤーの消費がテニス市場売上全体の70%を占めることから、重点的に販促活動を行っている。

また一度テニスをやめた後プレーを再開した人々も同様に2012年に増加し、前年比6%伸びて730万人となった。2006年以来、テニスの再開者数は堅調に増えており、その総数はここ6年間で1.5倍に拡大している。

一般のテニス愛好者に関しては、ここ2年間は若干低迷していたものの、2012年は前年比11%の伸びを見せ、総数で1,470万人となった。特に顕著な伸びは、アフリカ系アメリカ人およびヒスパニック系アメリカ人の愛好者であり、いずれも直近10年で最大またはそれに近い増加となっている。

TIA 会長は今般の調査について、「この結果は、長期的なテニス市場の拡大のために、TIA、USTA その他多くのテニス事業者の団結の下行ってきた活性化策が、結実し始めた兆しと言えるだろう。この努力はマラソンゲームであり、短期決戦ではない。」とコメントしている。



prince[®]

New **Type-J**

最強のスピンを打って見ないか。



Web Magazine

詳しいニュースは毎月20日発行の「Wilsonウェブマガジン」で。

Wilsonウェブマガジン 検索



RUSH PRO

パワー、スピード、コントロール。全てはフォアフットから。



MEN'S: 25.0-29.0cm
WOMEN'S: 22.5-26.0cm
¥12,495 (本体価格 ¥11,900)

ヨーロッパのウィンタースポーツNo1ブランド「サロモン」の

テクノロジーを受け継いだ、

テニスをするためのフットウェア-RUSH PRO。

そのもっとも大きな特徴は、3DFS (3Dフォアフット・サポート) テクノロジー。

テニスで最も大切なフォアフット (前足部) を立体的にサポートすることで安定性を高めた。

また足指を使うスペースが確保されているので、力強い動きを可能にする。

2013年。RUSH PROで駆け上がれ。



テニス事業の未来と 事業協会の果たすべき役割



人口が減りつつあり、サラリーマンの平均給与も減少。
若者の関心は IT に集まり、スポーツ以外へと向かいつつあります。
しかもスポーツは多様化し、かつてはメジャーだったテニスですが、
今はお金もかけずに手っ取り早く楽しめる競技が好まれる風潮となりました。
このような情勢の中、日本テニス事業協会ができ得ることは何なのか？
各委員会のメンバーにより議論が交わされました。

出席者

大久保 清一	税制委員長
栗山 雅則	事業委員長
大西 雅之	資格委員長
内藤 昇一	総務委員長
新堀 丘	普及委員長
金田 彰	安全・広報委員長
中山 和義	研修委員長



優秀なコーチを育てるために

—— テニス業界の成長曲線は、成長期から成熟期を乗り越えて、既に停滞期に入りつつあると言われます。30年前、会員制テニスクラブが低落するとは、想像も出来ませんでした。都心部ではテニスコートが激減。民間のテニスコートがこれから増えていく可能性は低いと思われます。会員制クラブには、若い人は入会せず、10年先よりも3年先が危ないとささやかれています。このような背景の中、テニスが事業として成立するには、2つの条件が必要と思われます。ひとつは良いコーチと良い支配人がいること、そしてもうひとつは良い設備をいかに提供できるかではないでしょうか。

中山 スクールをやっている問題だと思うのは、コーチとなる人材が少ないということ。うちだけではなく、どこもコーチの不足感はあると思います。

—— 昔に比べていいコーチが少ないのでしょうか？

中山 テニスの技術的にも、人間の魅力的にも、最初は未熟な人材を採らなければならないのが現状です。

内藤 まったく同感です。接客と技術指導の二つを、一つとして扱えるコーチを育てなければなりません、それには時間がかかるし、また管理者がそれをできなければコーチを育成できません。

コーチの魅力を伝えるために

中山 テニスコーチというのが、職業の候補になっていないですね。インターンではないけれど、高校生や大学生に、職場体験させる場を設けるのもいいのではないかと思います。

金田 自分は学生時代に、アルバイトコーチとして指導に携わり、コーチを通じて大勢の人前で話す機会を得られました。それがすごく楽しく思え、この業界に入りました。今の若い人たちは、コーチの魅力を知る場所がないのでは。我々が伝えなければならないのかもしれませんが、伝えきれていないのが現状です。確かに世の中には、若者にとって他にもたくさんの楽しいことがあって、テニスに興味に向かないのではないのでしょうか。

—— 昔はテニスコーチのアルバイト料も高かった。今に比べれば単価はるかに高かったと聞きますが？

中山 今は、確かにアルバイトでやるなら、テニスコーチよりも家庭教師のほうがたくさんもらえる。優秀な子はそっちにいきますよね。

—— 昔はコーチのレッスン単価が高くてやってこられた。やっているうちに面白くなって続けたということでは

すね。

大西 それもそうですが、その前に選手志向のプレーヤーが減少し、テニスの王子様ブームに比べジュニアが約3割減り、大学サークルの試合でも全盛期と比較するとドロース数が3～4割減っています。それが社会人になるわけで、業界に入ってくる絶対数が少ないのだから優秀な人も減るのは当然です。とにかく需要を掘り起こさないことには、専門学校生がどうか、いい人が入ってこないとか、優秀な人が減ったとか、愚痴みたいなことを言っても仕方がない。問題は、需要を増やすためにどうするか、我々でできる何か建設的なことをやらないことには、業界は衰退してしまいます。

テニスをする子どもは、増えている!?

内藤 今のスクールは、かつてテニスサークルでやっていた人のカムバック組を受け入れている需要があります。掘り起こしということでは、少子化問題をどう扱うか。伊達さんが引退したときに、「公立中学にテニス部を」という文書を残したんです。ジュニアとして育った子がいるのに、中学には硬式テニス部が少なく、そこでテニスから離れてしまう。すると高校ではもう、テニスをやらなくなってしまいます。中学校では、テニス部の顧問でテニスを指導できる人が少ない。そこへ我々が出向いて、学校教育の一環として援助できればと思うのです。

大西 中学校に硬式テニス部を作るというのは、今まで十数年来ずっと議論してきた話だけど、本当に難しいですね。

中山 だけどテニスをやっている子どもは、自分たちが子どもの頃に比べれば、確実に増えています。自分の周りで、幼稚園児でテニスをやっていた子なんてまずいなかったし、小学生でも少なかった。14歳未満のテニス



大西 雅之 資格委員長

人口が減っているというけれど、その感覚は、20年前に比べたら、僕にはないのです。ただ、大学生がやらなくなっただけの印象はありますね。

栗山 サークルも2極化しています。真面目派と、飲み会派。飲み会派にとっては、テニスは集まるための手段でしかありません。

金田 残念ながらテニスサークルというと、「飲みサー」と言われるそうです……。

14歳の気持ちを忘れさせない!!

内藤 14歳の意識として皆さんも経験がお有りと思いますが、部活の思い出として、夢とかテニスでグランドスラム大会に行きたいとか、その頃はそういう夢を現実として持っています。この時にテニスをしっかりと刷り込ませておけば、後にきっかけさえあれば、大人になってもう1回やってみようかなと思うようになるはずです。ここがポイントじゃないかと思います。子どもの時にキッズテニスをやっても、「やらされていた」という意識ではダメ。そこから「テニスが大好き」と思わせるように導くことが大切です。セレナ・ウィリアムズが久しぶりに全米オープンを制したときに、「14歳の気持ちに戻った。」という発言がありました。その頃は、世界チャンピオンになりたい一心でテニスをしていたのでしょう。それがもう一度なれたという感想として出た素晴らしい心に響く言葉だと思います。

中山 テニスは、最後のゴールがやっぱり、今のままでは弱いと思うのです。プロになりたいと高校生やジュニアが言ったときに、親が、「テニスのプロなんて食べていけるの?」と言う。サッカーや野球といった、プロとして食べていける確率の高いスポーツを目指している子たちの広がりとの違いが、テニスにはどうしてもある。今、錦織選手たちが頑張っているのです。子どもに夢はあ

るかもしれないけれど、親のほうが躊躇するケースがありますね。

コーチの魅力を高めるためには?

中山 仕事としてのコーチの魅力がもう少し高まると、良いと思います。例えば報酬面。あとはやっぱり、保障が無いといって就職をためらう人もいますよね。怪我をしたときに食べていけなくなりますから。

大西 だけど保障だけではないのも事実。だから魅力作りをどうするかだと思います。

栗山 30年前から、コーチとしての魅力作りというのは考えてきました。コーチになり、職業としてお客様に教えるのも面白いと思いますが、ジュニア育成がないと、その魅力がなかなか分かりません。教え子たちの勝った!負けた!がコーチとしてのやりがいにもなります。人にもよりますが、ジュニア育成を生き甲斐としてやっている人はたくさんいます。もちろん、サラリーマン的にやっている人もいますが、華やかな舞台もないと、コーチとしての魅力は活かしにくいのではないのでしょうか?

—— コーチとして50～60歳までやっている人はいるのでしょうか?

中山 うちの59歳のコーチが一番人気で、今も週に20レッスンをこなします。実力があれば食べていけるんですよ。

金田 コーチを魅力ある職業にする。そのためにコーチは勉強し続けなければなりません。そういう環境を整えるのが、私たち事業協会の使命の一つと考えています。

中山 年と共にどうしても、若い頃に比べて動けなくなりますからね。優れた指導法、人間的魅力がないと、年をとってからは厳しくなります。動きだけに頼っているコーチは、ほかにもいろいろ勉強しないと辛くなりますね。

金田 私はテニスコーチを30数年前に始めました。初めてアシスタントに入った当時のメインコーチの方は、60歳を過ぎて髪の毛も真っ白のおじいさん。ですが、それは丁寧な指導をなさっていて、わたくしは尊敬を通り越して感激しました。その印象は今でも忘れられません。

栗山 ちょうど私たちよりも少し先輩の世代が創世期でしょう。テニスブームになったとき、私たちより少し先輩の方々がコーチとして、業界を担っていました。その人たちが今、定年を迎える時期で、これからどうするか。これは今までにはなかった新しい問題といえます。



栗山 雅則 事業委員長



金田 彰 安全・広報委員長

—— 今後はテニスプロデューサー制度を充実させ、教育し、環境を整え、技能があり、人間的魅力があって、運営能力を身につけ、クラブ経営もできる、レンタルコートの管理もできる、どんなイベントもこなせるという、レッスンだけではなく運営面でのスペシャリストが育成されると良いですね。

会員制テニスクラブに未来はあるか？

中山 会員制クラブには、土地の問題がどうしても避けられません。実際、会員制クラブは近年、すごい勢いで無くなっています。無くなったから移ったのに、またそこも無くなるからと移っても、さらにまたそこも無くなるだろうとあって、3回連続で無くなりましたという人が私のクラブを訪れてきました。

栗山 最近ではテニスクラブのメンバーさんも、閉鎖されることに少しずつ慣れてきていますね。

中山 土地の値段を考えると、会員制クラブの会費は安すぎるというバランスの問題がありますから。

—— 固定資産税そのものの税率が高すぎるのは法律上どうしようもありません。その上、固定資産税は地方自治体の大きな財源だから、下げようにも下げられないのが現状でしょう。

栗山 海外だと、必ずメンバーシップがあり、スクールがあり、ジュニアプログラムがあり、アダルトにも他のクラブとのリーグ戦がある。だけどコーチの数は少なく2～3人で、あとはアシスタント。それでレッスン、掃除、ショップ、コーヒーを出すまで全てやっていて、しっかりとした実入りがあるんです。1人で7面のレッスンをやっているコーチもいるのです。本当のプロフェッショナルと言うのですが、そういう人は日本にはなかなかいませんよね。

65歳以上の層を厚くしたい！

中山 人口の推移は、私たちの力ではどうしようもない話です。ただ、若い人が減少傾向だとしても、65歳以上の層は増え続けているのだから、こちらを集めてはどうでしょうか。

金田 逆転の発想ですね！クラブを維持するには、とても大切だと思います。

栗山 若い人が少なくなっている以前の問題として、若い人がテニスクラブに入らなくなってきていますからね。

中山 当社もスクールからクラブへと勧誘はしていますが、主要客層が年配者ばかりだと、若い人にとっては違和感があります。中長期的な対策は別として、短期的には、会員制クラブが存続するには65歳以上でとにかく、昔テニスをやっていた同年代の人を誘ってもらい、その層を分厚くしたいと考えています。

栗山 逆に、若い人が多いクラブもあって、そこは40歳未満の人には会費を下げています。私たちが30～40代の頃よりも、今のその年代の人たちは給与所得が低いと言われてますし、忙しいこともあり、そのような対応をしないと集まらないようですね。もちろん会費が下がれば人が集まるのか、値段の問題なのかどうか、というのはまだ疑問ですが。

内藤 元気なお年寄りはいっぱいいますよ。70代だけど気持ちは30代という人。お年寄りになると話し相手が欲しくなります。集まる場所が、女性はスーパーなどがあっても、男性はなくなります。若いころテニスをやっていた人が、年をとったらテニスクラブに仲間を求めに来て欲しいと思うんですよ。

—— すると、若いころやっていない人はどうしましょう？大人に対してグリーンボールを使って普及するというのをITFが提唱しているそうですね。私は大人になってから初めてテニスをしましたが、面を作るのが難



しい。ボールが真ん中に当たらない、どこに飛ぶかもわかりません。やわらかくてコントロールしやすいという、グリーンボールで無理なくできるテニス環境というのを、整えていただきたいですね。

栗山 今、テニスクラブでは60代の方が多くいらっしゃいますが、たぶん10年たったらクラブの平均年齢は8歳くらい上がります。病気などでテニスを続けられなくなったり、亡くなったりする方も出てくるでしょう。メンバーが減ってくるから、今、若い人を入れておかないといけません。海外では100年続いているクラブもあって、そこでは「ジェネレーションが回る」といいます。ジュニアプログラム、働き盛り、シニアがいて、循環するシステムにならないと、50年、100年続くクラブにはならないのですね。

—— 外国の場合は税制も全く違うのでしょうか、日本においては現行税制の中でどうやっていくのが、会員制クラブの当面の問題とされますね。

テニスクラブのパブリック化

大久保 スクールには、テニスが初めてというお客様も結構いらっしゃいます。テニス人口が減らない程度に、新しく入ってきてくれています。ただ、そのお客様が友達同士でテニスをどこか別のところでやるというときには、クラブではなくたいてい公営のコートです。私が考えるこれからの会員制クラブのあり方は、あくまでもパブリック化を目指すというもの。会員制という形は取りますが、クローズではなくオープン。パブリックに限りなく近づけて、そういうお客様を取り込めるようにして、料金を安くし、ある程度の人数を確保します。

—— 地方都市では、1時間200円でレンタルできる、インドアのあるきれいな公営コートもありますね。しかも60歳以上は無料。片や税金を使って運営している公



新堀 丘 普及委員長



大久保 清一 税制委員長

営コート、片や固定資産税などの税金を納めてやり繰りする民間クラブ。厳しい現実があるようです。

新たな「スクールライフ」を構築する

—— これからのテニス事業は、会員制というよりも、スクール事業が中心になるといわれています。これからのスクール事業というものの変化をどう考えていますか。

中山 スクール自体がクラブ化してきていて、初級クラスにずっといる人がいます。だからスクールも、会員制とあまり変わらないところもありますね。

—— クラブライフに代わる「スクールライフ」というものを作っていく必要があると思いますね。

中山 テニススクールというと、「うまくなるために入ってくる」イメージですが、そろそろ将来的にうまくなるためだけではなく、「ずっと楽しみたい人も通っているんです」というイメージを作っていきたいですね。

—— グループのレッスンというのが盛況だとお聞きします。6~7人にコートを貸し出して、コーチが少し入るという形態。そういう新しいスクールライフのあり方がどんどん提案されてほしいですね。

中山 上級とか中級とか、そういうレベル分けを一切なくして、アクティブとかエンジョイとか、そういうクラス名にしているやり方が奏功しているところもあります。だからレベルは混在しています。だけど、進級や卒業がないので、お客様はいつまでも続けられるわけです。コーチとしても、生徒をうまくしなければならぬという気負いがなくなり、楽しませることに集中できます。

テニススクールは予備校にならえ!?

中山 よく思うのは、超優秀コーチであっても、二十歳



そこそこのコーチであっても、レッスンを受ける人が支払う料金は同じ。これがこの業界では問題だと考えています。「〇〇コーチのレッスンならいくら！」というふうになれば、若いコーチでも頑張れば高い料金がもらえて、自分の名前も浸透していくという夢を持てると思います。

新堀 コーチの技量により料金の違いがあっただけでしかないというのはその通りだと思います。ただそれに徹し切れないのは、その人が休むときもあるし、同じレベルでの代替のコーチを入れられるかという問題もあり、なかなか難しい。

中山 予備校業界はそこを脱したところがうまくいきましたね。〇〇先生の講義ということで生徒がドッと集まり、普通の先生の授業を教室で受けるよりも、その先生ならテレビモニターを通じた授業でもいいとなって、そちらに人気が集まり、支払われる講師の給料にも格差ができました。ただ、テニスも講義だけで納得してもらえれば（テレビモニターの授業でも）いいけれど、なかなか難しいです。

新堀 いずれにせよ、これから新しいテニスクラブやスクールを作ろうとする人はなかなかいないでしょう。今あるところも、人材を雇用しきれぬのかという不安もあると思う。専門業者に委託してもらえれば、餅は餅屋ではないですが、うまく回せて、それがみんなでうまく生きていけるひとつの道かと思います。

各テニス団体が力を合わせる必要性

—— これからの事業協会の方向性についてお聞きします。

中山 団体がいっぱいあると、力が分散します。今は4つありますが、一般的な認識としてはテニス協会。事業協会はそこの部門の一つになっても良いと思うんです



内藤 昇一 総務委員長

よ。

金田 事業協会の活動の柱は3つあり、テニスの普及と、人材育成、会員サポート、これは当然ですが、事業者の団体として情報を発信できるのは私たちですので、事業協会の果たす役割は大きいと思います。あとは中山さんがおっしゃったように、4つの団体をまとめる。力を結集してテニスの普及と発展、人々が成長していける世界を作るために一丸となっていければ素晴らしいと思います。

中山 テニス産業で食べている人、メーカー、ショップも一緒になってはじめてテニス事業協会だと思います。またテニス人口が減っているのは、ショップが減っているせいもあるでしょう。メーカーにも頑張ってもら必要があります。昔はテニスメーカーも、窓辺広告といって電車に広告を出して頑張っていました。

—— 各団体が初めて力を合わせたのが、「テニスの日」でしょうか、昨年は15周年でした。

また、各団体のトップが集う「日本テニス連合」も結成されて、テニス界発展のために多角的に話合われているようです。今後の成果が期待されます。

お客様が来るのを待つ時代は終わった!?

—— お客様を待つ時代は終わり、外に出て行き学校や幼稚園なども含め、これからは「営業」的な活動が必要な時代となっているような気がします。

内藤 たとえば、仕事として学校と提携し、あくまでも部活の考え方に沿い、練習のやり方を教えてあげる、尚かつ、プラス技術も教えてあげるコーチを派遣をしている会社があります。

大西 私たちは県立高校の体育の授業でお手伝いしました。それと、幼稚園は学習指導要領みたいなものがないので、毎日先生方がカリキュラムを考えてやっています。体育の指導に来てほしいと頼まれて行ってみると、先生方は体育の指導経験が乏しい。小学校は学習指導要領があるから、入り込めません。幼稚園はそうではない。これが普及のひとつになると僕は思っています。

—— まさに営業ですね。

大西 普通のラケットを幼稚園に寄付するのはお金がかかりますが、「てのひらけっと」などは値段が手ごろで無理なく提供できます。あとは幼稚園の先生が指導できるような仕組みを整えて、年間カリキュラムの中にテニスを取り入れてもらえればいいですね。それによって小学校に入ったとき、テニスクールを習い事を選択肢にする可能性は高まるでしょう。



中山 和義 研修委員長

中山 とはいえ、いきなり学校や幼稚園に電話をかけて話を持ちかけても、難しいと思います。人づきあいというか、ネットワークがあつてはじめて成立する普及活動だと思えます。町会やPTAの役員を引き受けるなど、人づきあいのネットワークを地域に広げていく必要があります。

—— これからの方向として、幼稚園や学校、大学を含め、営業をする。そのために人間関係を構築することですね。

大西 すぐに利益に結びつくわけではないけれど、中長期的な普及の活動には必ずなりますよね。小さい子どものときにおいしさを知れば、大きくなったときにも食べてくれる、マクドナルド戦略ですよ。

もっと手軽にできるテニス環境を！

中山 あとは公園とかでテニスができるのが良い。アメリカなどと環境が違うのはここでしょう。手軽にテニスができる環境があるといいと思いますね。

—— 日本では公園でボール遊びが禁止されていますね。

中山 公園でキャッチボールは危ないからできないで済ませないで、危なくないようにネットを張ってキャッチボールエリアを作る活動が、野球では行われています。テニスでも何らかの働きかけはできると思います。また、テニスコートの完全な予約制はいかがなものでしょうか。テニスコートにやってきて、時間がきたら順番に代わっていくアメリカみたいな公営コートで、ローテーションできるともっと気軽に楽しめると思えます。

金田 気軽という意味では、有明の森スポーツフェスタはものすごく良かったと思います。テニスの日は、テニス経験者がほとんど。フェスタはいろんなスポーツがあり、その中にテニスがある。初心者がテニスに取り組む

確率がものすごく高いんですよ。そういったほかのスポーツとの交流を積極的に作っていきたいと思います。

—— 有明の森スポーツフェスタは、季節ごとにやっていただきたいのですが、予備日を取るのに難しそうですね。また、2020年のオリンピック招致が決まると、有明テニスの森公園に大工事が入り、コート数が減るとお聞きしています。できたら東京都に別の場所にコートを作ってもらいたいですね。

ナショナルチームを盛り上げて、さらなる普及を！

—— 事業協会の方向性としては、指定管理を推進しています。各協会が統合し力を結集、そして普及のために施設の活性化を狙っていますね。

中山 そのためには、地域との関わり合いを強化する必要があります。よく学校がやっていますが、沿線にあるテニススクールを紹介するような電車の連合広告はひとつの手かと思えます。

新堀 あとは、いつも言っていますが、ナショナルチームをもっと盛り上げたい。そのためには、事業協会のメンバーがもっともっと熱く参画していかないと、ファンを有明に動員できません。ファン、イコール私たちのお客様ですから。有明にもっと動員できる各スクールであり各クラブであってほしいと思うのです。

—— そのためには、人に期待するのではなく、自らがああしよう、こうしよう考えることが大事ですね。どうやったらテニス事業が活性化するか、これを今後も考えて知恵を出さなければなりませんね。

大久保 何よりも普及でしょう。遠回りのように思えて、それが事業者のためになると思います。

新堀 夢物語かもしれないけれど、事業協会に普及を全委託してほしいとも思います。普及は我々の命、我々の生命線ですから。

やはり人材育成が大事！

—— 最終的には人材育成がポイントとなるのでしょうか。

金田 対談のはじめに『優秀なコーチを育てるために』というテーマで対談が始まりましたが、事業協会の部会の一つにコーチ部会が有りまして、平成23年の6月第1回コーチステップアップアカデミーが開催され今年1月で第9回目を迎えました。白倉部会長が「全てはお客様の為に」という理念の基にテニスコーチの資質向上の



ため熱い勉強会が開催されています。クルム伊達選手を育てた小浦猛志先生や中嶋康博さん竹内映二さんを迎えて机上だけではなく、オンコートでも勉強してるんです。テニスコーチ無くしてテニス事業は考えられません。白倉部会長が言っているように5年後10年後も益々信頼されるコーチであるために皆さん勉強なさっている。

—— コーチステップアップアカデミーは各回ともに全国から数多くの参加者があるようで活気がありますね。

金田 特に力を入れているのは、PLAY+STAYというITF（国際テニス連盟）が提唱した普及プログラムです。日本においても「日本テニス連合・普及分科会」がこのプログラムを推進する方針を定めました。事業協会でもコーチ部会がいち早く勉強会を開催しています。吉田記念テニス研修センター様が研修を積極的に受け入れてくださり、多くの参加者が目から鱗の勉強をさせていただき、それぞれの現場で実践されています。レック興発様もインドアの研修会場をお貸しくださって本当に感謝しています。コーチ部会の活躍は大いに期待されますね。

—— マネージャー部会も定期的に勉強会をなさっているようですが。

新堀 事業協会は人材育成を最大のテーマにしていますが、その中でも現場の中心となる支配人の育成、教育がとても大切ですね。

現在、マネージャー部会が開催している勉強会はそういう意味でもとても有意義な内容になっていると思います。

専門職の方を招いての勉強会や業界を代表する社長さんの講演など、とても支配人には役に立つ勉強会となっていると感じています。

昨年からはまった『実践！支配人養成塾』は業界で成功した方、チャレンジしている方の事例を交えて話が聞けるので、支配人の立場にいる方には刺激的で吸収するものが多くあるはずですね。

—— 支配人養成塾は始まったばかりですが、参加者の方はみなさんモチベーションが非常に高いと聞いています。

新堀 マネージャー部会のメンバー自身が本当に各社さんの現場で支配人をされている方ばかりですから、自分達が学びたいこと、興味のあること、そして自分達に不足していることに対するリアリティがありますよね。

同時に同業他社さんとの情報交換も活発なようですし、今後も更に濃い内容を期待しているんです。まずは『一専多能型』の支配人を目指して、社長の片腕になって欲しい。

そして彼らが更に自分たちの部下を育て、次世代を託せ



る人材を多く育成して欲しい。

我々もその応援、協力を惜しむこと無く取り組んでいくことが先輩としての役割と思っています。

—— コーチ部会とマネージャー部会の活動はこれからとても楽しみです。

栗山 事業協会の活動目的の一つである人材育成に、今後も積極的に取り組まなくてはならないと思います。この15年ぐらい前からテニスクラブが減っています。みなさんも承知の通り、相続や後継者の問題でクラブを閉鎖しなければならない状況になっています。

また、民間や企業のテニスコートが減少している状況の中、公共施設や学校にもまだまだテニスコートがあります。公共施設のテニスコートやテニスクラブを管理運営し、利益が出るような経営ができる人材を育て、指定管理事業に積極的に取り組んでいくことがこの業界にますます必要になってくると思います。こういう優秀な人材をテニスプロデューサー制度を中心として、各種研修会や新しい勉強会などに取り組んで更に進めていかなくてはならないと思います。

大西 栗山事業委員長のお話の通り、資格委員会では、今後も一層テニスプロデューサー制度を推進し、人材育成に積極的に取り組んで行きたいと考えています。そのために今の資格取得要件となる科目について新たな科目を取り入れる事の検討や資格取得後のフォローアップ体制の充実を目指して活動をしていくつもりです。人材育成こそ、テニス事業の要です。

—— 事業協会の活動目的、人材育成と普及活動そして会員サポートのために、テニスプロデューサー制度等資格制度並びに指定管理事業を推進し、同時に各団体との協力関係を築き、日本におけるテニスとテニス関係者のますますの発展に邁進されますようお願いしております。



設立当初から今日まで

公益社団法人日本テニス事業協会 元副会長 内藤 昇

設立20周年おめでとうございます。

昭和47年に私自身クラブ経営に携わり、首都圏、関東更に日本連盟で大勢のオーナー、支配人の方々にお世話になり貴重な交流に接し感謝の意を表します。20周年を迎えた今日設立当初を回顧し感無量を覚えます。

テニスの御縁で今上陛下のご成婚、平和で豊かな世の中、世はテニスブームの時代でした。テニス愛好者の集いの場としてクラブが各地に誕生したのは昭和40年後半から50年にかけてでした。さきがけとして都内では東京ローンテニスクラブ、田園、東伏見、大森、神宮、個人オーナーとしてグリーンテニスクラブ等、関西地区では香栢園、芦屋ローンが記憶されています。このような事情によりクラブ同志の交流、情報交換の必要から田園テニスクラブ支配人新納氏の働きかけにより首都圏テニスクラブ連盟が発足したのは昭和47年11月でした。会長にグリーンテニスクラブのオーナー飯田太郎氏、幹事長に新納氏、事務局を大森テニスクラブにお願いし、和気あいの発足でした。その後、関東、日本へと輪が広がり会長には引き続き飯田太郎氏、事務局に百合ヶ丘ファミリーテニスクラブ支配人石原徳昭氏、両氏の熱意と会員が一体となり、親睦を深めると共に密度の高い情報交換が行われクラブ運営などに大変参考になりました。しかしテニスブームが落ち着くと共に愛好者のニーズの多様化、経済情勢等さまざまな事情により、クラブ会員の補充などが充分ではなく更にはクラブ用地にかかる固定資産税、予期せぬ地価税により負担が増しクラブ運営、経営に変化の徴候がみられるようになりました。任意団体である日本テニスクラブ連盟では、このような事態に対応することは困難であるため、会長、事務局長、理事者で綿密な話し合いを重ね社団法人設立の合意に達し、早速認可の手続きを始めました。認可は当時の通商産業省で、その窓口は産業政策局サービス産業課、会長、局長、時には小生も一緒に何回となく足を運び当局の様々な指導、助言を忠実に守り約1ヶ年を経て平成4年12月、ようやく認可。難産であったが晴れて(社団法人)日本テニス事業協会の誕生をみる事ができました。20周年の契機に更めて両氏のご尽力、百合ヶ丘ファミリーテニスクラブのオーナー鈴木氏のご協力に改めて敬意を表します。

飯田会長から現雑賀会長になられたのは1996年6月。雑賀氏は会長就任直後から会員の増強と組織の充実に力を注がれております。設立当初の会員はクラブ会員が主体であったが次第に新設クラブが殆ど見られず、落ち着いた状態でクラ



ブ自体の会員の減少が表れるようになると共に、地方公共団体が地域振興の一助としてテニスコートを新設、愛好者にとって希望する場所、時間にしかも廉価で仲間と共に気軽に楽しめる環境になり、クラブコートより公共コートでのプレーが現在でも多く見られテニスを広めるためにより傾向であると思います。又、同時に企業主体のテニススクールが各地に開校され、積極的な事業展開をはかり愛好者を開拓、普及につとめ、現在は当協会の主体を占めるようになっていきます。

テニス産業の源はサービスであることを深く認識、そのためには会員の資質向上が欠かせないため、雑賀会長は理事各位、加藤事務局長と力を合わせ持ち前の指導力、バイタリティーで積極的にこの問題に取り組み、日本協会、プロ協会、女子連、更にはテニス用品業者と連携を保ち、各種研修会、テニスプロデューサーの認定、テニスの日等、諸々なイベント。その集大成が毎年開催される“日本テニス産業セミナー”であり各事業の充実のため常に精進されておられます。又、昨今は社団法人の改革にいち早く取り組み、当協会が公益法人の認可を受けたことは将来への展望、期待に充分添い得るもので、大変喜ばしく力強さを覚えます。

終わりにクラブ、スクールを併合、経営している一会員として、当協会の会員構成が時代を反映してクラブ会員からスクール会員へとその比重が増し、一抹の寂しさを感じますが、両者会員の意志の疎通を深め、互いに励まし合い会員各位の繁栄と協会の発展を祈念し、20周年を迎えた所感といたします。



『テニス業界の公益法人化』への歩み

日本テニスクラブ連盟 元副会長 飯田 恭次

十年一昔という言葉がありますが、二十年は二昔、ここに、日本テニス事業協会が二十周年を迎えられたとの事、心よりお慶び申し上げます。

そして、これまで夫々のお立場でこの業界を支えて来られた関係皆様のご努力に、あらためて敬意を表します。

事業協会発足時に多少係りを持った一人として、スポーツ余暇産業の視点からテニス業界の歩みを振り返ってみることにいたします。

昭和31年の経済白書は“もはや戦後ではない”と書かれ、昭和30年代の日本経済は池田内閣の所得倍増計画の下、高度成長を続けます。昭和39年、東京オリンピック、昭和45年、大阪万博、そして、昭和47年、田中内閣が成立、日本列島改造論となります。

高速道路網、車社会の進行する中で、土地利用の多様化、レジャー時代を迎えます。

〈硬式テニスの普及〉

当時、テニスと言えば軟式テニスが主流で、硬式テニスは、やや、一般性を欠いていました。

この時期に、余暇活動の増大と、新たな土地利用策として硬式テニスクラブの新設が始まります。又、各所で開かれたテニス教室は硬式テニスの大衆化を一挙に進めました。いわゆる、テニスブームが社会現象となりました。

〈首都圏テニスクラブ連盟の誕生〉

以上のような動きの中で、最初に誕生した業界組織は「首都圏テニスクラブ連盟」です。

第1回総会は昭和48年3月、東京都渋谷区の岸記念体育会館で開催され、加盟クラブは16でした。

以後、年を追って会員クラブは増え、昭和55年の第8回総会時は44クラブが加盟、役員改選により会長にグリーンテニスクラブ飯田太郎氏を選出、事務局は百合ヶ丘ファミリーテニスクラブ（神奈川県川崎市）が担当することになります。

〈関東テニスクラブ連盟連合会〉

その後も、硬式テニスクラブの新設は全国規模で広がり、愛知県、千葉県、茨城県、関西、西日本・・・等々に逐次、地域組織が誕生していきます。

そのような中、関東地区では首都圏テニスクラブ連盟が中心になって、業界連合組織を作ろうということになり、各組織内で合意した結果、昭和59年5月、関東テニスクラブ連盟連合会が正式に発足、8地域組織の連合体が成立しました。因みに加盟組織は首都圏テニスクラブ連盟の他、千葉県、埼玉県、首都圏西部、練馬区、世田谷区、茨城県、栃木県の地域でした（総加盟クラブ数227）。

〈日本テニスクラブ連盟の設立〉

この間、業種を越えて大手企業も所有土地の有効利用

ということでテニスクラブ・テニススクール開設へ参入が続きます。その背景には労働時間の短縮、週休二日制の普及、レジャー時代の到来等がありました。

いよいよ、全日本組織への取り組みとなります。昭和60年3月、名古屋ターミナルホテルにて、



日本テニスクラブ連盟設立への準備会が開かれ、当面、関東テニスクラブ連名連合会が、そのまとめ役を担うこととなります。

その後3年間、全国各地の業界組織と連絡調整を重ね、昭和63年10月、東京の京王プラザホテルにて、正式に日本テニスクラブ連盟が設立されました。組織代表としてはグリーンテニスクラブ飯田太郎氏が就任、事務局は、引き続き百合ヶ丘ファミリーテニスクラブにお願いをしました。

この様に業界組織が拡大する中で、個別テニスクラブの経営環境は次第に厳しくなってきます。都市部での地価高騰は固定資産税、相続税の負担増となり、平成3年には地価税までかかるようになります。又、地方では公共施設との競合等も起こってきます。

日本テニスクラブ連盟は、他の関連業界団体との連携を深めながら、テニス業界の健全な発展を目標に活動を続け、次の段階に進みます。

〈業界組織の公益法人化〉

スポーツとしてのテニスと共に、それを支えるテニス関連産業が順調に発展していく為には任意団体組織では限界が来るとの通商産業省（当時）の行政指導もあり、日本テニスクラブ連盟は社団法人化への準備に入ります。

そして1992（平成4）年12月、通商産業省の認可を受け公益法人としての歩みが始まります。事務局は東京の副都心、新宿区の小田急明治生命ビルに置き、初代飯田太郎会長、二代目雑賀昇会長のリーダーシップの下、テニス事業の活性化と将来に向けた業界発展の為の諸活動が進み、ここに成人式を迎えた事になります。

振り返ってみると、当業界は任意団体として20年間、公益法人として20年間の活動を続け、これからの20年、人口減と少子高齢化時代をどういふ歩みをして行くのでしょうか・・・一文を綴りながら、今は冥界に入っておられる数々の人との出会いを懐かしく思い起こします。



公益社団法人日本テニス事業協会20周年によせて

公益財団法人吉田記念テニス研修センター 理事長 吉田 宗弘

日本テニス事業協会は早いものでその設立から20年の月日を数えることになりました。

今年、社団法人日本テニス事業協会から公益社団法人日本テニス事業協会としてスタートしました。90周年を迎えている日本テニス協会とも並び、大いに活動の発展が期待されております。

さて、日本テニス事業協会の基盤となりましたテニスクラブ連盟及び各地域によるテニスクラブの発足発展は1960年代に始まり、1970年、1980年、1990年と段階を追って発展してまいりました。もちろんこの間に日本プロテニス協会、また日本車いすテニス協会の発足もあり、北は北海道、南は沖縄に至るまで日本テニス界の発展がそれまでであった中学高校大学のテニス活動に加えて民間団体によるテニスの普及が進むようになりました。

クラブ連盟の発足に伴い、民間クラブの親睦、情報交換、指導者育成、運営経営に対する各種のセミナーが開催されてまいりました。中でもテニス事業経営の大きな課題となっております土地税制の問題についても永年検討し、諸省庁への働きかけにも関わらず、今後に残された大きな問題のひとつであります。

現在、世界経済は決して予断を許さぬ状況下にあります。ラケット・ウェアなど用具の開発は進んでおり、またテニス教室を通じ指導者の質の向上も進んでおります。

今後高齢化はますます進み、元気のある方々が年々を重ねていけます。少子社会に対してもレッド・オレンジ・グリーンボール並びに幼児に始まり、子ども向けの軽いラケット、ポータブルなネットの開発が進み、国際テニス連盟が推奨するこれらの用品を使うPLAY&STAYの普及が開始されるようになりました。

このPLAY&STAYの普及が進みますと幼児に始まり低年齢のお子様方、80歳90歳に至る高齢者の方のテニスがより容易になります。親子3代4代にわたるテニスが可能になりテニスの楽しさが大いに広がります。今後はテニススポーツが持っている本来の素晴らしさ（老若男女が共に楽しみ、互いにサービスしあう）が我々の必要とするスポーツ振興、テニスの発展に結びついていくと思います。

最後になりましたが雑賀会長並びに事務局を支える方々の日々細部にわたる努力と活動、そのリーダーシップに敬意と感謝を申し上げます。1975年私がテニスクラブを始めました時に、平成天皇のテニスの師でありました石井小一郎氏よりいただきました色紙の文をご紹介します。



「元来テニスクラブというのは、会員がそこで自由に好きな様にプレーを楽しんで居ればそれでいい筈だが、それだけでは不十分だと思う。会員が皆テニスのルールをよく守って、エチケットを尊重し、クラブに愛情を持ち、クラブを思うこと我が家の如くであって、はじめてクラブ生活がお互いに楽しくなるのである。この様なクラブ生活を永く続けることによって自然に故小泉信三先生のいわれたスポーツのあたえる三つの宝を享受出来るのではないだろうか。その三つとは第一に練習が不可能を可能にするという体験を持つこと。第二にフェアプレーの精神を体得すること。第三に人生の宝である“友”を得ることである。どうか本来クラブがほんとうにテニスが好きで心からクラブを愛する良い会員に恵まれて、人も羨む様な風格のあるクラブに育って行くことを期待して居る。

1975年5月 石井 小一郎

1882年日本で最初のテニスクラブY.I.T.C（横浜インターナショナルテニスコミュニティ）がスタートし、現在も元気に活動を続けています。良いお手本を元にテニスが永く続きいつもそこに楽しい明るい場があることを願います。今後も皆様と共に日々努力を重ねて参りたいと思います。

テニスコート

<http://www.maedaroad.co.jp/>

〒141-8665 東京都品川区大崎1-11-3
TEL 03-5487-0031

前田道路はクッション性の高い
ハードコートのラインナップを
取り揃えております。

リバウンドエース

Australian Open ~ 2007



北海道帯広市

ITF 公認
JTA 推薦

前田道路株式会社

プレクシクッション

Australian Open 2008 ~

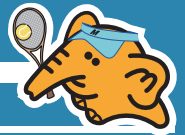


岐阜県岐阜市

ITF 公認
JTA 推薦

MAEDA のハードは
スローハードコート

COURT CONSTRUCTOR
MAEDA ROAD



「ストーリーは、環境から生まれる。」

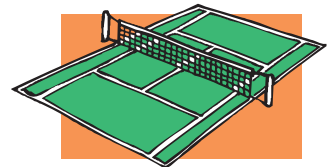
スポーツにはいつも感動のドラマが潜んでいます。

そして、感動のストーリーは理想的な環境の中で生み出されます。

私達は、プレイヤーの立場に立った発想でスポーツ施設を考え、

たゆまぬ努力を続けています。

各種スポーツ施設的设计・施工



ちようえい

長永スポーツ工業株式会社

大臣許可（特定建設業）第9078号 一級建築士事務所

〒157-0076 東京都世田谷区岡本三丁目23番26号

TEL 03-3417-8111 FAX 03-3417-8166

■支店 中部支店・三重支店・千葉支店・静岡支店

■URL <http://www.choei-s.co.jp>

いま、多くのスポーツ施設に選ばれている

LED照明

遠藤照明LEDZ シリーズは、
照明専門メーカーとして長年培ってきた光学技術を駆使し、
安全・高品質を追求した信頼のLEDブランドです。



ノア・インドアステージ久宝寺校
施主：ノアインドアステージ株式会社
設計：株式会社小野設計
施工：株式会社フジタ 大阪支店



ノア・インドアステージ久宝寺校



杉並区立井草中学校校舎・体育館 新築工事
施主：杉並区 設計：株式会社アール・アイ・エー
電気工事：協信・協電建設共同企業体

グレア(まぶしさ)のない
均質空間を実現!

ERK8265WB

¥53,500 <電源ユニット内蔵>
消費電力 62.1W



ノア・インドアステージ久宝寺校 使用器具
(ガード取付特注品)

HID400W相当!
拡散カバー+ガード付

ERG5185S

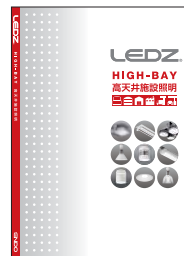
¥133,500 <電源内蔵>
消費電力 185.8W



LEDZ®

高天井施設照明カタログ発刊!

豊富なアイテムバリエーションで
15mクラスの高天井まで対応可能!



見て体感する光のショールーム

東京/大阪/札幌/仙台/名古屋/広島/福岡 ほか
<http://www.endo-lighting.co.jp/>

株式会社 遠藤照明

お問い合わせ先：TEL 03-5369-7139

おかげさまで、平成24年12月3日に大証第一部指定銘柄となりました。

価値ある空間を光から
LED照明のリーディングカンパニー

ENDO
LIGHTING CORP.

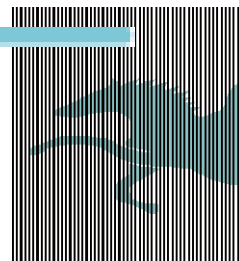
祝 公益社団法人日本テニス事業協会 設立20周年

総合スポーツクラブシステム

PEGASUS NS

☆ 過去29年の開発実績より全国約830店舗以上の実稼動ユーザ数を誇る
ノウハウと実績を詰め込んだ総合スポーツクラブシステム

☆ クラウドASPサービスにも対応



人と人をつなぐ技術で結ぶ

株式会社 **ネステイ**

本社 〒918-8114 福井県福井市羽水2丁目402番地
TEL: 0776-35-0505 FAX: 0776-34-0077
東京事業所 〒141-0022 東京都品川区東五反田1-9-4
TEL: 03-3473-5168 FAX: 03-3473-6753
URL <http://www.nesty-g.co.jp>

ますますのご発展をお祈りいたします

インドアテニスコート専用カーペット

セルダムコート



材工共標準価格㎡/12,000円(消費税別途)

ミヅシマフィールド株式会社

名古屋市北区金城町3丁目26-1 TEL052-911-4323
ミヅシマ工業(株)グループ



(公財)日本テニス協会



(公社)日本プロテニス協会



(公社)日本テニス事業協会



日本女子テニス連盟



2009年4月、テニスをより多くの方々に魅力あるスポーツと感じてもらい、より楽しんで貰う為には、(公財)日本テニス協会・(公社)日本プロテニス協会・(公社)日本テニス事業協会・日本女子テニス連盟の4団体がより強い協力体制を築いて行く事が必要であると考え、任意団体「日本テニス連合」を結成し、「日本のテニス界として4団体に横断的に存在する問題で、日本のテニス界をより強力に推進して行く為には統一して行くべき制度、問題点等を公式に取り上げて審議し、その解決案を策定する機関」を設立する事とした。

※「日本テニス連合」結成のごあいさつより編集

◆ 選手、コーチの資格制度の統一化を図る

日本テニス連合HP (<http://www.tennis.or.jp/>) 内に「テニスに関する資格コーナー」というページを制作しました。

- 「テニスに関する資格について」
- 「資格を取得したい方へ」
- 「資格の歴史」
- 「更新・キャリアアップ・記載」

など資格に興味がある方に役立つ情報が満載です。

◆ 法令の遵守、倫理問題の徹底と資質の向上を図る

◆ 強化・普及に関して、より広範囲な活動出来るような組織体制

強化・普及をより進める為に、ITF (国際テニス連盟) が推奨する「Play&Stay」をテニス界に広める活動を行っております。

※Play&Stayキャンペーンとは・

「サーブし、ラリーをして、得点すること」、「初心者でも最初のレッスンからゲームを楽しむ」という提言が中心となっているキャンペーンです。
コーチは広すぎないコートで、短いラケットを使い、やや遅いレッド・オレンジ・グリーン
のいずれかのボールでテニスを紹介します。



日本テニス連合では、2011年3月11日に発生しました「東北地方太平洋沖地震」被災地の一日も早い復興を願い、4月より12月までオリジナルワッペン・缶バッジ・Tシャツの製作販売を行い、総額9,679,954円を日本赤十字社ならびに東北テニス協会を通じ、被災者の方々への支援の為に寄附をさせていただきました。ご購入を頂きました皆さまへは厚く御礼申し上げます。また、被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。



公益社団法人

日本テニス事業協会

JAPAN TENNIS INDUSTRY ASSOCIATION

JTIAについて | ABOUT JTIA

組織図



事業者とともに「テニス界」の人材を育てます

人材育成事業 | HUMAN RESOURCE DEVELOPMENT

テニスプロデューサー資格制度

本制度はテニス事業におけるプロフェッショナルな管理者の育成を目的に2006年度よりスタートしました。テニスの技術的資格ではなく、マーケティング、人材育成、イベント企画・商品販売、顧客管理、財務管理、労務管理、施設管理、安全管理などの専門知識や接客技術など、テニスビジネスに必須な事業経営や運営についての資格制度です。資格取得者限定で「TP通信」の発信や「限定研修会」など更なる能力アップのためのフォローも行っております。

1 エグゼクティブ・テニスプロデューサー Executive Tennis producer

テニス事業における経営及び運営管理の知識を有し、その知識と経験を活用し、広く社会的にスポーツ振興に貢献する事業を推進すると共に業界をリードする能力を有する者。

2 シニア・テニスプロデューサー Senior Tennis producer

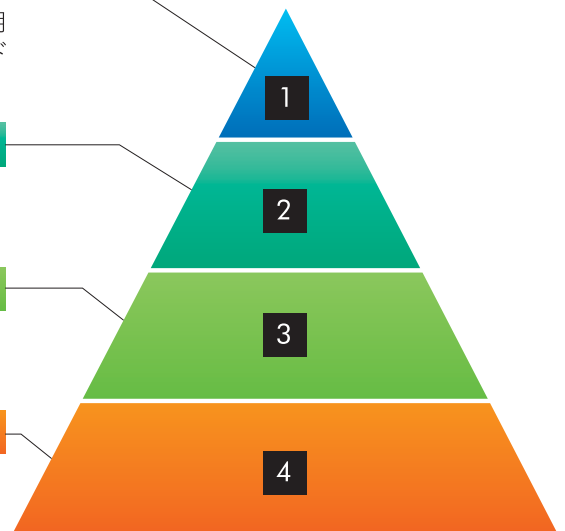
テニス事業において、複数の事業所の経営管理を行う事が可能であり、利益を生む経営を推進する能力を有する者。

3 テニスプロデューサー I Tennis producer I

テニス事業において、一つの事業所の経営管理を行い、円滑な運営を進める能力を有する者。

4 テニスプロデューサー II Tennis producer II

テニス事業における事業所の経営管理を将来的に担う存在として、基本となるテニス事業の知識と能力を有する者。



日本テニス産業セミナーの開催

テニス事業の事業者ならびに従事者の資質向上を図ることにより、テニスを通じて国民の心身の健全な発達を図ることを目的として、学識経験者、有識者による講演をはじめ事業者の事例紹介等により、管理運営の改善、経営基盤の安定、現状の把握と対策の検討を行う「日本テニス産業セミナー」を毎年開催地を変えて開催しております。



15周年記念日本テニス産業セミナー

経営勉強会の開催

テニス愛好者にとって魅力ある事業経営を行うため以下の経営勉強会を実施しております。

①「TOPGUN PROJECT」

テニス事業以外の経営者・管理者、他スポーツ関係者の講演やテニス事業者の事例紹介、人材育成や利用者への接遇に関する実践的なグループワーク、など二日間の勉強会を開催しております。

②経営・運営に係わる体験発表会

テニス事業に携わる者の資質向上と発展を目的に、テニス事業者の成功・失敗体験などを発表する勉強会を定期的に開催しております。



部会別勉強会の開催

各部会(クラブ部会、スクール部会、マネージャー部会、コーチ部会、フロント部会)において、テニス事業関係者の職位別セミナー・研修会・勉強会を、有識者や各分野の専門家による講演や、グループワーク形式などの手法で定期的を実施しております。

クラブ部会 「後継者の会」「テニス親睦会」の開催

クラブ部会では、テニスクラブビジネスを長く存続させるために、経営者の世代間交流を図ると共に、クラブ経営者の情報交換および実践学習の場を提供しております。「後継者の会」を中心に、クラブ経営の事例研究会や交流会を開催し、全国のテニスクラブ経営者およびその後継者のネットワーク作りを目指しております。また、「テニス親睦会」も開催しております。

スクール部会 スクール経営者の勉強会・情報交換会の開催

国内経済環境が厳しいと言われる状況をいかに克服して事業を発展継続させるのかを目的に、スクール経営者を対象に実情に則した意見交換や事例紹介など、種々の情報を収集し今後の事業の発展に繋がるような勉強会を開催しております。

マネージャー部会 マネージャー(事業部長・支配人等)の勉強会・情報交換会の開催

テニス事業におけるマネージャー業務の内容について、マネージャーから代表者となった方の経験談なども伺い、それぞれの事業所で行っている事を体系的に整理や分析を行い、先進的な取り組みをしているマネージャーが日々行っていることについての情報交換をすることなどから、マネージャーとしての資質向上を図り、業界の発展に寄与する勉強会・研修会を開催しております。

コーチ部会 コーチ対象講習会・勉強会・情報交換会の開催

テニスコーチのスキルアップを目的に、ジュニアの育成強化、テニスの普及、サービス業としてのノウハウ、事例紹介、異業種での体験会など各種の講習会・勉強会・情報交換会を開催しております。

フロント部会 フロントステップアップアカデミーの開催

テニス事業に於けるフロント業務は年々その重要性が増しております。フロントの皆様が日頃から悩んでいることへの解決の糸口など、これからの業務に役立つ情報提供を目的に勉強会・研修会を開催しております。

定例勉強会

■ 安全・危機管理セミナーの開催

テニス事業に関わる重要な安全管理や危機管理について、リスクマネジメントや法律の専門家による講演、具体的事例や各種ツールの紹介、心肺蘇生法やAEDの講習などの安全・危機管理セミナーを開催しております。



■ テニス事業を取り巻く税制勉強会の開催

現在のテニス施設経営を取り巻く税制は非常に厳しい状況にあり、事業者自らも自己啓発や研鑽に努め、現在の税制に対する理解と対策を講じていく必要があります。テニス事業に関連する税制や、大きな問題でもある事業継承などに焦点をおいて、講演や事例紹介を中心とした「税制勉強会」を開催しております。また、消費者保護法や個人情報保護法に関する勉強会や会員規約やスクール規約に関して、弁護士または司法書士の先生による勉強会も行っております。



事業者とともに「テニスの普及」を推進します

普及事業 | DISSEMINATION

東京都知事杯有明チームテニスコンペティション

ATTC
Governor's Cup

東京都スポーツ振興局の後援事業。有明テニスの森公園48面のテニスコートを使い144チーム(約1,080名×2日)が参加する大会です。個人戦が中心のテニスにあって、団体戦という形態による国内最大規模の大会を開催しております。2日間にわたり単に試合だけではなく、チームワークの育成を図り、試合に負けてもプロ選手に挑戦・クリニックなど各種アトラクションでスポーツの楽しさ等を伝えるイベントも行っております。



キッズ&ジュニアテニスカーニバル

東京都スポーツ振興局の後援事業。テニス未経験者・経験者の子供達に、より楽しいテニス体験が出来る場を提供する事をテーマに年1回、未就学児より中学生までを対象(約250名)としたテニス無料体験会を有明コロシウム・センターコート(キッズコート10面)と有明テニスの森公園テニスコート9面にて開催し、テニスの普及を図っております。



テニスの日



(公財)日本テニス協会、(公社)日本テニス事業協会、(公社)日本プロテニス協会、日本女子テニス連盟をはじめ15団体で構成。9月23日(秋分の日)を『テニスの日』と定め、テニスの普及、発展を強力に推進するための諸行事を実施しております。



有明の森スポーツフェスタ

東京都スポーツ振興局との共催事業。有明テニスの森公園と有明コロシアムを使用し、スポーツ(テニス大会・テニスクリニック・ソフトテニス・車いすテニス・バドミントン・走り方・体力測定・ブラインドサッカー・親子体操・フラフープ・その他ニュースポーツなど)に触れ合う機会をつくり、子どもが「スポーツ好き」となり、体力向上のきっかけとなるイベントを開催しております。主に児童、青少年を対象とした無料体験会を実施しますが、大人もスポーツを体験できる場を提供し、生涯スポーツ社会への参加を促します。また、障害者スポーツのイベントも実施しており、障害者の健康増進と社会参加を促進する事業として開催しております。



日本テニス連合

2009年4月、(公財)日本テニス協会、(公社)日本プロテニス協会、(公社)日本テニス事業協会、日本女子テニス連盟の4団体がより強い協力体制を築いていくことが必要であると考え結成されました。具体的な計画としてまず着手したい課題は、

1. 選手、コーチの資格制度の統一化を図る。
2. 法令の遵守、倫理問題の徹底と資質の向上を図る。
3. 強化・普及に関して、より広範囲な活動を出来るような組織体制

資格に関するホームページの制作、強化・普及をより進める為にITF(国際テニス連盟)が推奨する「Play&Stay」をテニス界に広める活動を行っております。



日本テニスチーム大会

テニス事業所チーム対抗戦を開催し、テニスクラブメンバーやスクール生などへ競技参加目標を掲げ、競技に参加できる環境を提供し、テニスを通じて地域間交流を促進しながら個別テニスクラブ・スクール及び業界組織の結束及び事業の活性化を促進させることを目的として開催しております。

テニス活性化委員会

2008年4月、テニス用品メーカー9社と(公社)日本テニス事業協会が集い、「日本のテニス界を他のスポーツに負けないメジャースポーツに盛り上げたい」「テニス人口を更に拡大したい」「強い選手をもっと輩出し世界で活躍して欲しい」との熱い想いを込めて、『テニス活性化委員会』が結成されました。「テニススマイル」のウェブサイトを開設し、今後もテニス愛好者やテニス事業者役に役立つ情報発信を継続していきます。



「テニス事業者」をサポートします

サポート事業 | SUPPORT

情報紙「JTIA News!」発行

本協会の活動についての紹介や報告、外部の方からの特別寄稿、成功事業所の事例紹介、テニス事業の運営に役立つ連載企画、各種情報、ニュース等を掲載する情報紙を年4回発行し、加盟会員の皆様にお届けしております。



年4回発行の情報紙「JTIA News!」

指定管理者制度への取り組み

有明テニスの森公園や豊島区施設(三芳グランド、総合体育場等)目黒区施設(八雲体育館等)の指定管理を受け運営をおこなっております。その経験から得られる情報や専門家からの情報など、新規の指定管理受託に向けて勉強会や各種情報提供等をおこなっております。

環境問題への取り組み

人々の健康と密接な関係にあるスポーツ事業者として、地球環境の保全に向けた各種活動には積極的に参画して参ります。「チャレンジ25キャンペーン」への具体的取り組みとして以下の項目について推奨しております。

- ①砂入り人工芝のリサイクル
- ②テニスボールのリユース

テニス保険(テニス施設総合補償制度)

テニス事業運営に際して、安全管理や不慮の事故への対応は重要であります。本協会加盟会員を対象に賠償事故やクラブ・スクールの利用者に関わる事故などテニス事業所で考えられる事故に対する保険を特別料金にてご紹介しております。

オリジナルのぼり

スクールの生徒募集の告知手段としての「のぼり」を本協会がとりまとめ、特別価格で販売しております。大変効果的なツールであると好評を得ています。

のぼりは各種デザインを取り揃えております。▶



安全管理推進ツール

事故を未然に防ぎ、テニスを楽しむ人々に安心してプレーして頂く環境を作るために手軽にご活用いただける安全管理推進ツールをHPにご用意しております。

各種テニス関連商品の斡旋及び販売

テニス事業に関わる各種関連用品・物品やサービスの斡旋及び販売をいたします。テニスクラブ・テニススクール管理運営ソフトの斡旋、AED(自動体外式除細動器)の斡旋などを行っております。

テニス事業経営に関する支援

テニス事業を取り巻く税制問題は大変厳しい状況下にあります。都市部においては高額な固定資産税が大きな負担であり、個人所有の土地においては相続税により事業の継続が非常に厳しい状況が続いております。長年の課題であるこの問題にはあきらめることなく取り組んで参ります。また、テニス事業の運営に際し、近年増えてきております労務管理上の課題や、人材育成上の悩みに対しても会員の皆様のご要望に応えることが出来る体制づくりに取り組んで参ります。

サーブ&ボレーも出来る ミラクルテニス

MT004
38,000円(税抜)

ボレーネットは
ついていません

スクールの必需品！！

- ①レッスンの復習ができる
- ②生徒様が喜ぶ
- ③車1台のスペースでできる



Miracle...
::X::Tennis

お問い合わせ 電話: 054-272-7700
E-mail: info@miracletennis.jp
Web: http://miracletennis.jp
日本・海外特許申請中
ミラクル株式会社
〒420-0934 静岡県静岡市葵区岳美 4-21



二人でボレー



ボレー



サーブ

匠人達が 如何なることにも 完全対応

<http://lhokuetsup.co.jp/>



ホクエツ印刷株式会社

〒135-0033

東京都江東区深川 2-26-7 北越ビル

TEL: 03-5245-8821 FAX: 03-5245-8828



【特別協賛社】

株式会社青山財産ネットワークス

サントリーコーポレートビジネス株式会社

ダイドードリンコ株式会社

株式会社ダンロップスポーツマーケティング



【特別賛助会員】

株式会社青山財産ネットワークス

サントリーコーポレートビジネス株式会社

スポーツサーフェス株式会社

ダイドードリンコ株式会社

株式会社ダンロップスポーツマーケティング

長永スポーツ工業株式会社

テニスサポートセンター

株式会社ネスティ

株式会社ビーシーセンター

社会保険労務士法人プロジェクト

ヨネックス株式会社



【協力賛助会員】

ジャパンリスクマネジメント東京株式会社
高木工業株式会社
東京ウエルネス株式会社
東京海上日動火災保険株式会社
ホクエツ印刷株式会社

【賛助会員】

I. C. P. 株式会社
アシストインターナショナル株式会社
株式会社アスリード
アメアスポーツジャパン株式会社
株式会社イースリー
株式会社ウエルビー
株式会社エス・アール・アイシステムズ
株式会社遠藤照明
株式会社小野設計
NPOグローバル・スポーツ・アライアンス
グローブライド株式会社
株式会社ゴーセン
ゴーツースポーツ株式会社
株式会社GNE
地業建設株式会社
ジャスパス株式会社
ジャパン・ビジネス・サプライ株式会社
株式会社新光トレーディング
株式会社スポーツサンライズドットコム
株式会社住ゴム産業
総合警備保障株式会社
ターフサイクル株式会社
株式会社ダイエープロジェクト
株式会社テニスナビ
東亜ストリング株式会社
株式会社トモ
株式会社日東社
株式会社NIPPON
日本体育施設株式会社
株式会社フュービック
ブリヂストンスポーツ株式会社
プレミアムスイソ株式会社
ペイントマノン
HEAD Japan 株式会社
株式会社マイクロフォーサム
前田道路株式会社
有限会社マツオホケンサービス
株式会社マックスヒルズ
丸菱産業株式会社
ミズノ株式会社
ミヅシマフィールド株式会社
ミラクル株式会社
明治安田システム・テクノロジー株式会社
有限会社モリ・コーポレーション
株式会社ライフ・デポ
有限会社リバティヒルバケーション
株式会社WOWOW

*敬称略・50音順

JTIA News! 2013.02 Vol.59 20周年記念特別号

発行：公益社団法人日本テニス事業協会 / 発行日：平成25年2月

発行責任：雑賀 昇 / 編集責任：金田 彰 (広報委員長)

発行所：TEL.03-3346-2007 FAX.03-3343-2047

〒160-0023 東京都新宿区西新宿1-8-3 小田急明治安田生命ビル地下1階

キャッシュカードと 暗証番号で 口座振替 らくらく 安心受付

- 口座振替依頼書の受付処理、
配送作業が面倒
- 依頼書が印鑑相違や口座相違で
返却されてしまった
- 個人情報が入った依頼書の取扱いは
セキュリティが心配
- 口座振替受付から振替開始まで
時間がかかってしまう

JTIA会員のテニススクール、テニスクラブの皆様
こんなお悩みはありませんか？

その
お悩み



JASPASが
解決します!

※JASPAS(ジャスパス)株式会社はJTIA賛助会員です。

- 入会申込の際に、振替口座の印鑑が不要です。**
※金融機関のキャッシュカードと暗証番号で口座振替の受付ができます。
※印鑑相違、口座相違などで起きる追加業務が発生しません。
- 金融機関へ提出する書類が不要になり、事務処理が簡単になります。**
※書類の保管、送付などセキュリティ面でも安心。



- 日本テニス事業協会会員様を対象に
特別価格を設定いたします。**
- 1台の端末で、口座振替受付と
クレジットカード決済が可能です。**



Blend is Beautiful.

ブレンド。旨みと深みを引き出す、美しき魔法。

おいしさ、山の差、ありがたさ。



まず雨を待つ。その雨は森に優しく受けとめられたあと、地下深くへ浸透しながら、石や土に磨かれ、長い時間ののち、ようやく天然水になる。天然水は、山にしかつくれない。だから、サントリーの天然水工場は山の中にあります。山を選び、山を守り、人に届ける。それが、サントリーが天然水のためにできることのすべてです。

NEW サントリー 天然水

